

平成 29 年度
第 2 次静岡市ものづくり産業振興基本計画
実施状況報告書

経済局商工部 産業振興課

*** 目 次 ***

平成29年度 第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について	1
1 経緯	1
2 基本計画の概要	1
3 実施状況等	2
(1) 8つの重点項目の実施状況	4
(2) 方針ごとの実施状況	6
①方針1 企業の誘致と留置の推進	6
②方針2 新市場・販路開拓に対する支援（異業種交流支援を含む）	6
③方針3 新製品・技術開発等に対する支援	9
④方針4 中小企業の経営基盤・競争力の強化	11
⑤方針5 次代を担う多様な人材の育成	13
(3) 実施状況の総括	14
4 各事業の進実施状況管理個票	17

平成29年度 第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について

静岡市ものづくり産業振興条例（以下「条例」という。）第8条第7項の規定に基づき、次に掲げる事項について報告いたします。

1 経 緯

静岡市ものづくり産業振興基本計画（以下「基本計画」という。）は、平成23年3月に議員提案をもとに制定された条例を根拠とし、同条例第18条に規定する静岡市ものづくり産業振興審議会及び関係機関と連携を図りながら、平成24年7月、「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」を目標に掲げ策定しました。

その後、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化を踏まえ、継続的にものづくり産業の振興を推進するため、第3次静岡市総合計画及び第2次静岡市産業振興プランとの整合を図り、平成27年3月に第2次基本計画を策定し、計画目標の達成に向け取り組んでいます。

2 基本計画の概要

基本計画については、条例に掲げる趣旨の具現化に向けたプロセスであることから、計画目標を支える5つの方針に基づき全21の事業を設けるとともに、第2次基本計画から新たに8つの項目を重点項目として設定し、体系化を図りました。

根 拠 法 令	静岡市ものづくり産業振興条例第8条第1項（基本計画の策定等）
計 画 期 間	平成27～30年度（4か年度）
策 定 目 的	本市ものづくり産業の総合的かつ計画的な振興を図るため
計 画 構 成 等	(1) 計画目標 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡 (2) 重点項目 ①緑地率の緩和 ②大手製造企業の傘下企業に対する支援の検討 ③中小製造事業者等を取り巻く規制事項の洗い出しと緩和の検討 ④本市の誇るべき中小製造事業者等の表彰 ⑤産業振興プラットフォームの考え方に基づく中小製造事業者支援 ⑥国や県等の補助制度の情報提供と活用モデルの提案 ⑦展示販売会等の開催による販路拡大に向けた支援 ⑧ものづくり関連の民間活動団体への支援 (3) 方 針 方針1 … 企業の誘致と留置の推進 方針2 … 新市場・販路開拓に対する支援 方針3 … 新製品・技術開発等に対する支援 方針4 … 中小企業の経営基盤・競争力の強化

	方針5 … 次代を担う多様な人材の育成 (4) 事業 各事業の成果目標及び事業実績一覧表のとおり
--	--

基本計画の実施主体については、計画目標の達成に向けた事業を実施する担当課として、経済局商工部3課（産業政策課、産業振興課、商業労政課）が基本計画の推進に取り組んでいます。

事業担当課では、方針や施策を踏まえるとともに、計画目標を達成するための成果目標のもとで、効率的かつ効果的な事業運営に努めました。

3 実施状況等

基本計画は、前項のとおり、計画目標の達成に向けて体系化が図られたものであるため、その実施状況にあたっては、一事業の実施状況を注視するだけでなく、計画目標を実現させるために掲げた方針の実施状況を捉えることで、計画全般を総合的に把握する必要があります。そのため、今回の報告では、図1のとおり、計画目標の大項目である8つの重点項目と5つの方針を基本的な枠組みと捉えるとともに、5つの方針の中に位置付けられた各事業（一定の事業内に掲載されたポイントを含めると全43項目）に関する実施状況をもとに、方針ごとの実施状況を把握しています。その後、それぞれの方針に関する実施状況を総合的に判断した結果をもとに、基本計画全体の実施状況を包括的に評価しています。

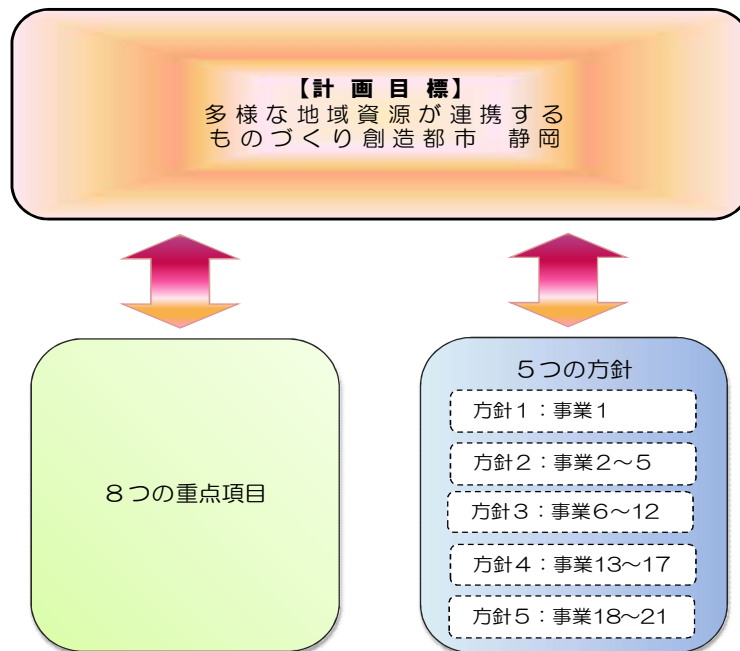


図1 基本計画体系図

各重点項目及び方針の実施状況を把握するため、各種事業の成果目標に対する達成状況等について、表1のとおり評価しています。なお、数値目標を設けている事業については、事務事業総点検表の評価基準に倣い、「S」から「C」までの4段階による評価を実施し、数値目標を設けていない事業については、「※」として区分しています。

事業評価	成果目標に対する達成状況等
S	期待を上回る（105%以上）
A	期待どおり（90%以上 105%未満）
B	期待を下回る（70%以上 90%未満）
C	期待を顕著に下回る（70%未満）
※	数値目標を設けていない

表1 成果目標に対する各種事業の達成状況等

その後、各種事業の成果目標に対する達成状況等を方針ごとに取りまとめ、方針別実施状況について表2のとおり評価しています。

方針別評価	方針別実施状況の評価
◎	期待を上回る（S+Aの割合が90%以上 100%以下）
○	期待どおり（S+Aの割合が70%以上 90%未満）
△	期待を下回る（S+Aの割合が50%以上 70%未満）
×	期待を顕著に下回る（S+Aの割合が50%未満）

表2 方針別実施状況の評価

(1) 8つの重点項目の実施状況

重点項目においては、8項目のうち、重点項目1の「緑地率の緩和」について、「静岡市工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例」を平成27年11月に制定、平成28年4月1日に施行し、すでに完了していることから、今年度は評価の対象外としております。

残りの7項目のうち、数値目標を設定している3事業がすべて「A」評価となったことから、方針別実施状況の評価を「○（期待どおり）」と評価しています。

数値目標を設定している事業ではありませんが、特に成果のあった項目として、重点項目②の「大手製造企業の傘下企業に対する支援の検討」が挙げられます。この項目では、本市に立地する大手製造企業に関連する中小製造事業者について、各事業者が抱える課題の解決のため、各事業者と市内及び首都圏等の優れたOB人材等とのマッチングに取り組んでいます。

平成29年度は市内中小製造事業者にヒアリング調査を実施したところ、「製造現場に従事する人材の不足」と「経営課題を解決できる専門知識・技術等を持った人材の不足」という課題を抱えていることがわかりました。

そこで、前者の「製造現場に従事する人材の不足」に対する取り組みとして、ポリテクセンター静岡で市内中小製造事業者と人材の交流会を開催し、計273回の面談が行われました。その結果、34件のマッチング（市内中小製造事業者の採用面談に進んだ件数）が成立しました。

また、後者の「経営課題を解決できる専門知識・技術等を持った人材の不足」については、市内中小製造事業者と専門的な知識・技術を持つ企業OB人材等（＝「新現役」）とのマッチングを通して経営課題の解決を図る「新現役交流会」の開催の検討を行うため、地元の信用金庫向けにセミナーを開催し、平成30年度の「新現役交流会」の開催に向けて検討を行いました。今後も、市内中小製造事業者の課題を解決する取り組みを継続して実施していきます。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成29年度実施状況	事業評価
(計画目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(8つの重点項目) 中小製造事業者への重点的取組			
◆ (重点項目①) 緑地率の緩和	工場立地法に基づく準則条例の制定 (緑地率の緩和条例の制定)	なし 「静岡市工場立地法第4条の2第2項の規定に基づく準則を定める条例」をH27年11月に制定、H28年4月1日に施行済み	
◆ (重点項目②) 大手製造企業の傘下企業に対する支援の検討	企業OB技術者等の現状把握及び活用方策の整理	■中小製造事業者に対するヒアリング調査を実施した ■市内企業と人材の交流会 (人材ニーズ解消型) 及び「静岡市新現役交流会」セミナー (経営課題解決型) を開催した	※
◆ (重点項目③) 中小製造事業者等を取り巻く規制事項の洗い出しと緩和の検討	市内製造事業者が課題とする規制事項及び緩和要望等の把握並びに緩和実現に係る方針の検討	経済団体との懇談等を通じ、規制事項のヒアリング等を実施した	※
◆ (重点項目④) 本市の誇るべき中小製造事業者等の表彰	①静岡県知事表彰及び静岡市功労者表彰への推薦 3者表彰 ②中小製造事業者の技術表彰制度 表彰社数 3社表彰	①表彰者数 3者 ②表彰社数 3社	A
◆ (重点項目⑤) 産業振興プラットフォームの考えに基づく中小製造事業者支援	プロジェクト支援数 5社	プロジェクト支援数 5社	A
(重点項目⑥) 国や県等の補助制度の情報提供と活用モデルの提案	国や県等の補助制度に関する情報の整理及び製造事業者への適時適切な情報提供	国や県、その他産業支援機関等のガイドブック、ホームページ等により、情報収集を行った	※
◆ (重点項目⑦) 展示販売会等の開催による販路拡大に向けた支援	展示会等の誘致件数 1件	展示会等の誘致件数 1件	A
◆ (重点項目⑧) ものづくり関連の民間活動団体への支援	広報等による支援の実施	■日立清水理科クラブの会報を配架し、活動の周知を実施した ■NPO法人マンパワーカフェとOB人材活用施策等について意見交換を実施した	※

注) ◆印は第2次基本計画の策定に伴い新たに掲載された事業を示しています。

表3 8つの重点項目の実施状況等

(2) 方針ごとの実施状況

①方針1 企業の誘致と留置の推進

方針1は、表4のとおり登録事業は事業1のみですが、事業評価が「S」となったことから、方針別実施状況の評価に関しても「◎（期待を上回っている）」としています。

年間を通して積極的な企業訪問に取り組み、企業ニーズの把握に努めるとともに、企業にとって有益な情報提供（物件情報の提供等）を実施したり、助成制度の活用を促したりするなど、企業立地の促進に努めています。また、企業ニーズに合わせて助成制度の見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担うなど、企業に寄り添った支援を実施した結果、新規企業立地の年間目標件数を上回る26件の立地に成功しました。今後は、大規模立地案件への対応のため、助成制度の見直しや、交付事務手続きの簡素化等の検討を行ってまいります。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成29年度実施状況	事業評価
(計画目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針1) 企業の誘致と留置の推進			
(事業1) 企業立地の推進	新規企業立地件数 17件/年 ※(第3次総合計画) 平成27～30年度 68件	新規企業立地件数 26件	S

表4 方針1の実施状況等

②方針2 新市場・販路開拓に対する支援（異業種交流支援を含む）

方針2については、表5のとおり、数値目標を設定している8事業のうち、2事業が「S」評価、5事業が「A」評価となったことから、方針別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

事業評価が「S」となった事業2の「全国規模等の見本市への出展助成」は、市内中小製造事業者が販路開拓や販売促進のために全国規模又は国際的な展示会等に出展する際、その経費（小間料等）の一部を助成するものです。平成29年度の申請件数は計45件であり、商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）は、目標5%に対し、11%という結果となりました。この助成制度は、同一の企業が利用できる回数については、年1回かつ同一の展示会への助成は累計3回までという制限を設けているものの、申請事業者の固定化が課題となっているため、今後は周知方法を工夫するなどして、広く本制度の周知を図るよう努めてまいります。

また、同じく事業評価が「S」となった事業3-3の「しずおか葵プレミアム認証事業」は、平成29年度に制度をリニューアルしてスタートした事業です。従来の制度では、静岡市ならではの製法、原材料、アイデアなど、7つの認証基準に基づき専門家の審査によって

選ばれた商品を「しずおか葵プレミアム」として認証していましたが、新制度では地元密着型の地域ブランドを目指すため、認証商品選定の過程に「市民投票」を導入し、名称を「しずおか葵プレミアム・アワード」に変更しました。また、従来の制度では毎年度、認証商品の選定を行っていましたが、認証事業者に対しよりきめ細かな支援を実施できるよう、2年で1クールのスキーム（初年度に認証商品を選定し、次年度にその商品のPR・販促支援を実施する）に変更しました。平成29年度は、制度のリニューアル後初めて実施する「市民投票」をより多くの市民に周知するため、年度当初に計画していたイベント等に加えて、様々なPR活動を実施した結果、成果目標である展示・販売会等開催回数は、目標12回に対し、24回となりました。

今後は、さらにブランド認知度を高めることでブランド価値の向上を図るため、市内外へ広く情報発信できるWEBコンテンツ（動画等）を活用した積極的なPRを実施していきます。

以上のように、方針2については、前述のとおり7事業において、事業評価が「S」又は「A」であったものの、事業4の「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」については、「C」評価となりました。この事業は、製造業が盛んである東京都大田区で開催される「おおた研究・開発フェア」及び「おおた工業フェア」に市がブースを確保し、出展を希望する市内中小製造事業者を支援する取り組みです。成果目標が「おおた研究・開発フェア及びおおた工業フェアの出展企業数2社」であるところ、「おおた研究・開発フェア」への出展希望企業がなかったこと、又、2月に開催される「おおた工業フェア」への出展希望企業が出展者多数により出展できなかったことから「C」評価となりました。「おおた工業フェア」は工業系の展示会として一定の効果が期待でき、かつ、出展を希望する企業があるため今後も引き続き出展企業の募集を行いますが、「おおた研究・開発フェア」は年々出展希望企業が減っているため、事業廃止を含めて事業の実施方法を検討していきます。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成29年度実施状況	事業評価
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)			
(事業2) 全国規模等の見本市への出展助成	商談成約率(名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合) 5%	商談成約率(名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合) 11%	S
(事業3) 首都圏におけるプロモーションの強化			
(事業3-1) 特産品東京展示会事業	会場売上金額 500万円	会場売上金額 490万円	A
(事業3-2) ホビーのまち静岡推進事業	関連施設・イベント入込客数 247,000人	入込客数 233,888人	A
(事業3-3) しずおか葵プレミアム認証事業	展示・販売会等開催回数 12回	展示・販売会等開催回数 24回	S
(事業4) 中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援	おおた研究・開発フェア及びおおた工業フェアの出展企業数 2社	出展企業数 0社	C
(事業5) 地場産品の販路開拓と販売促進			
◆(事業5-1) 伝統工芸品等の展示販売会の充実化	各展示販売会来場者数 270,000人	各展示販売会来場者数 274,423人	A
◆(事業5-2) 海外における地場産品の販路開拓	開発と販路等の検討	JETROの事業枠で海外の展示会に出展し、静岡市の工芸品(静岡挽物等)の展示を行う予定であったが、採択に至らなかったため未実施	※
◆(事業5-3) インターネットの活用による地場産品の販売促進	駿府楽市Webページ改修	なし (※H27年度に改修済み)	
◆(事業5-4) 問屋的機能の再興に向けた検討	業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回	業界及び駿府楽市との検討会実施回数 28回	A
◆(事業5-5) 地場産品販売拠点の充実化	駅駿府楽市来場者数 41.5万人	年間来場者数 42.4万人	A

注) ◆印は第2次基本計画の策定に伴い新たに登録された事業を示しています。

表5 方針2の実施状況等

③方針3 新製品・技術開発等に対する支援

方針3については、表6のとおり、数値目標を設定している7事業のうち、事業評価が「S」又は「A」となった事業がそれぞれ3事業であったことから、方針別実施状況の評価を「○(期待どおり)」としています。

事業評価が「S」となった事業11の「地域課題に係る産学共同研究への支援」は、静岡市産学交流センターで実施している委託事業で、本市の地域課題（産業戦略）の解決を目的として、市内の中小企業、NPO法人、組合、産業活性化グループなどの団体が、大学その他の教育研究機関と共同で取り組む調査・研究開発を支援しています。事業の採択にあたっては、公募で将来性が期待できる「基礎コース」と実用化が見込める「応用コース」に分けて募集し、審査を実施したうえで採択事業を決定します。平成29年度は、成果目標である産学共同研究数7件に対し、「基礎コース」7件、「応用コース」2件の計9件を採択しました。採択事業の一例としては、地ビールの製造工程から出るモルツ粕の有効利用を図るため、乾燥・粉末化したモルツ粕をパンや麺などに練りこんだ食品の開発事業や、清水港からの食品輸出拡大に向けた貨物の混載化に関する調査研究事業が挙げられます。今後も、地域課題の解決につながる良質な研究テーマを発掘支援することにより、産学連携を推進していきたいと考えています。

一方で、「B」評価となった事業9-2の「新商品・特許事業」は、市内中小製造事業者が取り組む新商品の開発及び特許等の産業財産権の取得について、その経費を一部助成する事業です。成果目標が新商品開発及び産業財産権出願等の件数25件であるところ、平成29年度の実績は22件となったため、事業評価は「B」となりました。目標件数に至らなかった要因としては、平成28年度までは補助対象が商標登録、特許・実用新案であったところ、平成29年度からは商標登録を除外し、特許・実用新案に限定することとしたことから、申請件数が減少したためであると考えられます。商標登録を除外した理由は、この助成制度の本来の主旨が本市中小製造事業者の技術保護のためであるものの、商標登録に対する助成件数が最も多いという実情から、技術保護を目的とした特許・実用新案に特化した助成制度への転換を図るためであり、今後は、静岡県発明協会と連携を図り、本制度の更なる活用を促すことで、積極的な産業財産権出願を支援し、市内中小製造事業者の技術等の保護につなげていきたいと考えています。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成29年度実施状況	事業評価
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援			
(事業6) 新産業開発振興機構の活用に関する検討	新産業開発振興機構との連携促進に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> ■ 静岡商工会議所機構事務局と連携し、大学及び業界団体のマッチング可能性を調査した ■ 地場産業企業との協議を実施した 	※
(事業7) 中小企業技術開発支援事業	市内製造事業者を対象とした支援施設見学開催件数 1件	市内製造事業者を対象とした支援施設見学開催件数 1件	A
(事業8) 若手グループの商品開発支援(ものづくり相談・支援)	講演会、指導会等の開催回数 3回	講演会、指導会等開催回数 5回	S
(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援			
(事業9-1) 商品企画・開発支援プロジェクト事業	商品化件数 6件	商品化件数 6件	A
(事業9-2) 新商品・特許事業	新商品開発及び産業財産権出願等の件数 25件	新商品開発及び産業財産権出願等の件数 22件	B
(事業10) アーティストとのコラボレーション支援推進(ニューウェーブしずおか創造事業)	開発点数 20点	開発点数 27点	S
(事業11) 地域課題に係る産学共同研究への支援	産学共同研究数 7件	産学共同研究数 9件	S
◆(事業12) 職人に対する商品開発手法等の教育	職人向け指導会等開催回数 1回	職人向け指導会等開催回数 1回	A

注) ◆印は第2次基本計画の策定に伴い新たに搭載された事業を示しています。

表6 方針3の実施状況等

④方針4 中小企業の経営基盤・競争力の強化

方針4に掲げる事業については、表7のとおり、10事業のうち、数値目標が設けられているものは2事業であり、事業評価が「S」又は「A」となった事業がそれぞれ1事業であったことから、方針別実施状況の評価を「◎（期待を上回る）」と評価しています。

「S」評価となった事業17-1の「地場産品の市場及び商品分析等に関する調査」については、成果目標である首都圏等における調査実施回数2回に対し、4回の実施となりました。この事業は、本市の地場産品に対する顧客ニーズの把握及び分析を行い、地場産業関係事業者へフィードバックすることで、新商品開発や販売促進等への活用を図るものです。平成29年度は、大消費地である首都圏を中心に、展示会の開催やPR活動を実施するとともに、アンケート形式で消費者ニーズ等の市場調査を実施しました。その結果、消費者ニーズはある程度把握でき、一定の成果は得られたものの、把握できた内容はエンドユーザーの意見にとどまっていることから、今後は中間財としてのニーズを把握するため、BtoBの調査を併せて実施し、事業の多様化と充実化を図っていきます。

また、「A」評価となった事業16-3の「ものづくり先進都市等に関する調査研究」は、本市ものづくり産業の展望を見据える上において、先進都市等の動向を調査研究し、今後の事業展開等に役立てていくための知見の収集と分析を実施するものです。平成29年度は、本市と産業構造が近似しているさいたま市内の産業支援機関（さいたま市産業展開推進課、さいたま市産業創造財団）及び同市が支援・連携している企業（株）ベルニクス（「さいたま市リーディングエッジ企業」認証企業）を訪問し、生産波及効果の大きい産業の調査と分析を行いました。こういった調査・分析結果を本市の施策へ反映し、本市ものづくり産業の支援策の充実化に向け、検討を進めていきます。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成29年度実施状況	事業評価
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化			
(事業13) 国、県等に関する補助制度等の 情報提供支援	国や県等の補助制度に関する 情報の整理及び製造事業者へ の適時適切な情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ■国や県、その他産業支援機 関等のガイドブック、ホーム ページ等により、情報収集を 行った ■本市補助制度等の地域金融 機関への説明会を実施した 	※
(事業14) 企業OB技術者等の活用事業	企業OB技術者等の現状把握 及び活用方策の整理	<ul style="list-style-type: none"> ■中小製造事業者に対するヒ アリング調査を実施した ■市内企業と人材の交流会 (人材ニーズ解消型)及び 「静岡市新現役交流会」セミ ナー(経営課題解決型)を開 催した 	※
(事業15) 製造業部会等との連携推進	製造業部会等との連携による 各支援制度のブラッシュアッ プ	静岡商工会議所からの行政要 望を通じた意見交換等の実 施、当要望に対する検討及び 回答を行った	※
(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業			
(事業16-1) 産業構造の将来動向等に関する 予測モデル構築の検討	将来動向に係る基礎データの 蓄積及び予測モデルの構築	本市のものづくり産業につい て、雇用の観点から業種毎の トレンドや将来予測、製造業 の生産性について考察した	※
(事業16-2) 地域間競争に臨む戦略的方策の 検討	地域間競争に打ち勝つための 戦略的方策の検討	第2次ものづくり産業振興基 本計画に登載された全41事業 のうち、21事業において当初 の目標以上の進捗状況を達成 することができた	※
(事業16-3) ものづくり先進都市等に関する 調査研究	先進視察都市数 1件	調査都市数 1都市(さいたま市)	A
◆(事業16-4) エネルギー需要状況等に関する 調査研究	現在のエネルギー需要の把握 及び今後のエネルギー確保に 向けた方策の整理	冷熱利用は初期投資額、事業 用地などから実現困難と判 断。今後は水素エネルギー利 活用等について検討を行って いく。	※

注) ◆印は第2次基本計画の策定に伴い新たに登載された事業を示しています。

表7 方針4の実施状況等(次項に続く)

目標、方針、施策、事業		各事業の成果目標	平成29年度実施状況	事業評価
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡				
(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化				
(事業17) 地場産品に関する調査事業				
◆	(事業17-1) 地場産品の市場及び商品分析等に関する調査	首都圏等における調査実施回数 2回	首都圏等における調査実施回数 4回	S
◆	(事業17-2) 伝統工芸品に関する代替素材の調査研究	他都市、他産地の事例を調査研究	<ul style="list-style-type: none"> ■ 漆器、下駄、竹分野等における原材料の実態調査を実施 ■ 業界団体と意見交換を実施 ■ 竹素材の素材研究の実施 	※
◆	(事業17-3) 職人及び業界への支援の在り方に関する検討	他都市、他産地の事例を調査研究	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支援事業にかかる調査研究を実施 ■ 静岡挽物の在り方について調査研究を実施 ■ 全国の地場産業支援施策の事例を調査研究 	※

注) ◆印は第2次基本計画の策定に伴い新たに掲載された事業を示しています。

表7 方針4の実施状況等(次項から続く)

⑤方針5 次代を担う多様な人材の育成

方針5では、表8のとおり、数値目標を設定している4事業について、3事業が「S」評価、1事業が「A」評価となったことから、方針別実施状況の評価を「◎(期待を上回る)」としています。

「S」評価となった事業のうち、大きな成果を上げた事業19-2の「職人育成事業(クラブマンサポート事業)」では、地場産業界の後継者の確保及び育成、新規就業者の支援を目的に、①3か月の短期支援者、②2年の長期支援者、③独立支援者、④雇用奨励の4つの形態で支援を実施しています。平成29年度は、成果目標をそれぞれ①短期支援者数2人、②長期支援者数2人、③独立支援者数1人、④雇用奨励者数2人としていたところ、①短期支援者数3人、②長期支援者数4人、③独立支援者数2人、④雇用奨励者数2人と、いずれの形態でも成果目標以上の実績となりました。平成29年度は、平成28年度に課題としていた短期支援における新規受け入れを強化したことで3人の受け入れに成功し、又、長期支援修了者が伝統工芸分野に定着することを目的に新設された雇用奨励金を活用し2名の業界定着を図るなど大きな成果を上げることができました。今後も引き続き制度利用者が着実に技術を習得し、業界に定着できるよう、業界とのコミュニケーションを図っていきます。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成29年度実施状況	事業評価
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針5) 次代を担う多様な人材の育成			
(事業18) 理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討	設置学科等に関する地元産業界におけるニーズを把握する	短大化が決まった清水テクノカレッジと今後のものづくり人材育成の在り方について意見交換を行った	※
(事業19) 職人の育成事業(市と伝統工芸業界の連携事業)			
(事業19-1) 若手後継者の技術習得支援(伝統工芸技術保存講習会の開催)	受講生 30人以上 (漆器、蒔絵、木工、竹工芸、拭漆の5部門に関する講座)	受講者数 38人	S
(事業19-2) 職人育成事業(クラフトマンサポート事業)	制度活用者数(人) 短期支援2人/年、長期支援2人/年、独立支援1人/年、雇用奨励2人/年(各人数は延べ)	短期支援 3人 長期支援 4人 独立支援 2人 雇用奨励 2人	S
(事業19-3) 若手職人の大学進学支援の検討	他都市、他産地の事例を調査研究	■業界ニーズの確認 ■首都圏美術大学教授による指導等の実施	※
(事業20) 高校生のインターンシップ事業	事後アンケートにより「進路決定の上で参考になった」と回答した割合 90%	事後アンケートにより「進路決定の上で参考になった」と回答した割合 97.7%	S
(事業21) ものづくり体験・学習機会の提供	駿府匠宿体験学習利用申込児童数 3,300人	駿府匠宿体験学習利用児童数 3,326人	A

注) ◆印は第2次基本計画の策定に伴い新たに掲載された事業を示しています。

表8 方針5の実施状況等

(3) 基本計画実施状況の総括

基本計画の実施状況に関しては、表9のとおり、重点項目及び5つの方針ですべて「◎(期待を上回る)」または「○(期待どおり)」の評価となりました。

また、表10のとおり、評価区分別に見ると「S」評価が10事業、「A」評価が13事業と、数値目標を設けた事業数に対するS及びA事業数の割合が92.0%を占めていることから、基本計画全体としては、「十分に進捗が図られている」と捉えています。

方針等	事業評価	該当事業数	方針等における各事業評価の割合	数値目標有の事業数に対する「期待どおり」以上(S+A)の事業数の割合	方針別実施状況の評価(※)
重点項目 (7項目)	S	0	0%	100%	○ ※S+Aの事業数の割合は100%であるが、すべてA評価のため、「◎」ではなく「○」とする
	A	3	100%		
	B	0	0%		
	C	0	—		
	※	4			
	小計	7	100%		
方針1 (1事業)	S	1	100%	100%	◎
	A	0	—		
	B	0	—		
	C	0	—		
	※	0			
	小計	1	100%		
方針2 (9事業)	S	2	25%	88%	○
	A	5	63%		
	B	0	—		
	C	1	12%		
	※	1			
	小計	9	100%		
方針3 (8事業)	S	3	43%	86%	○
	A	3	43%		
	B	1	14%		
	C	0	—		
	※	1			
	小計	8	100%		
方針4 (10事業)	S	1	50%	100%	◎
	A	1	50%		
	B	0	—		
	C	0	—		
	※	8			
	小計	10	100%		
方針5 (6事業)	S	3	75%	100%	◎
	A	1	25%		
	B	0	—		
	C	0	—		
	※	2			
	小計	6	100%		
方針別実施状況の評価	S+Aの割合が	■90%以上100%以下：◎(期待を上回る) ■70%以上90%未満：○(期待どおり) ■50%以上70%未満：△(期待を下回る) ■50%未満：×(期待を顕著に下回る)			

表9 方針別実施状況の評価

評価区分	該当事業数	全事業数に対する事業評価別の割合	数値目標有の事業数に対する「期待どおり」以上(S+A)の事業数の割合
S	10	40%	92.0%
A	13	52%	
B	1	4%	
C	1	4%	
※	16		
小計	41	100%	

表 10 評価区分別の事業数の割合等

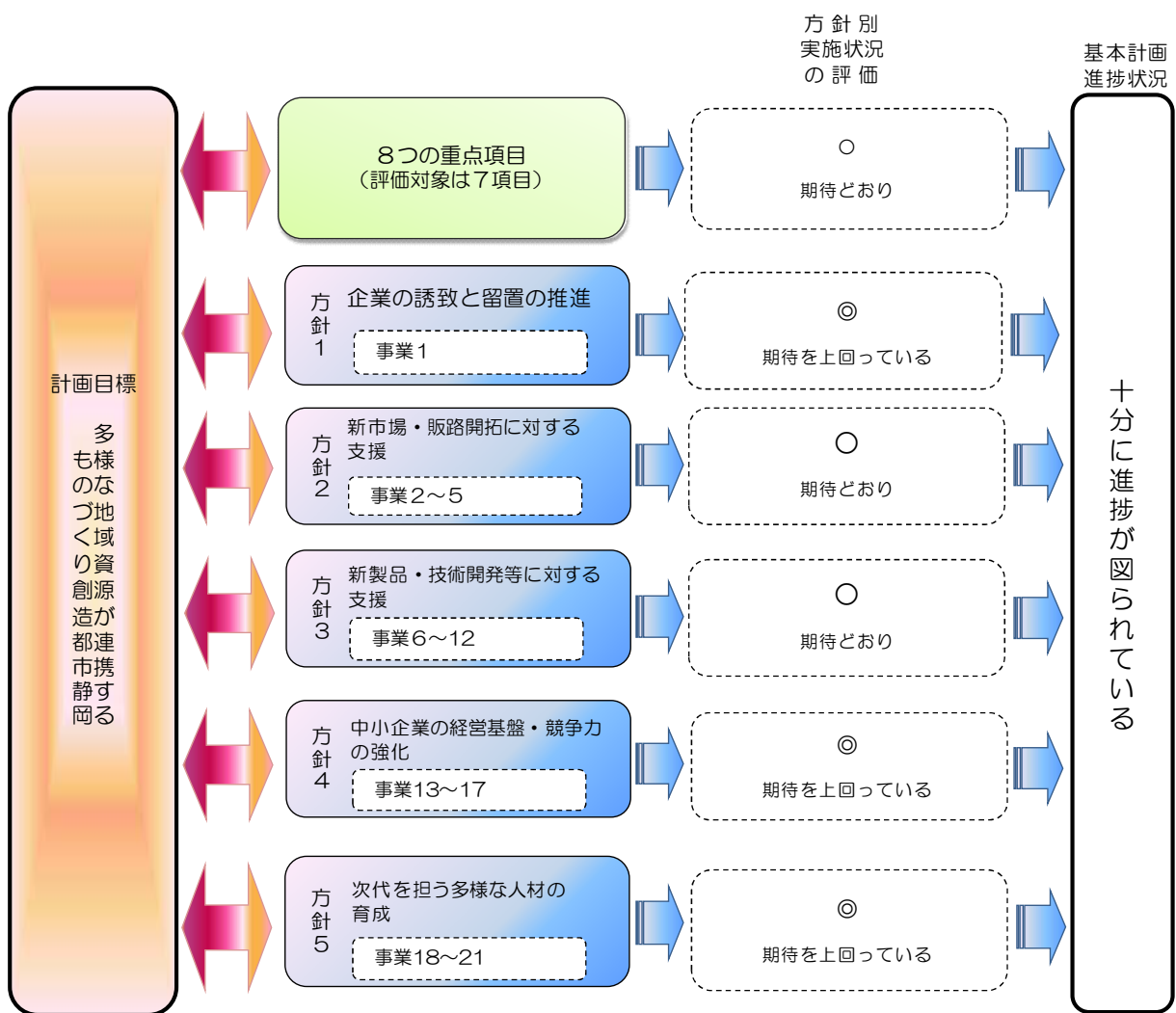


図 2 方針別実施状況の評価に基づく第2次基本計画の進捗状況

(添付資料)

各事業の実施状況管理個票

(P18~55)

4 各事業の実施状況管理個票

ものづくり基本計画		重点項目		平成29年度		
事業名	②大手製造企業の傘下企業に対する支援の検討			予算額	763千円	
				決算見込額	490千円	
事業概要	<p>本市には、エアコン等の電気機械器具製造業をはじめ、自動車フェンダーミラー等の輸送機器製造業など大手製造企業が立地しているとともに、それに関連する傘下の中小製造事業者が多数操業しています。</p> <p>こうした中小製造事業者は、製造品出荷額等の統計結果からも本市ものづくり産業への貢献が非常に大きいことから、事業活動の課題等を伺うとともに、課題の解決に向けた支援策の検討に取り組んでいきます。</p> <p>具体的には、そうした中小製造事業者が抱える課題の解決に向けて、市内及び首都圏等の優れたOB人材（エンジニア等）と中小製造事業者のマッチングを図っていきます。</p>			取組状況	H29.9.1 現在	<p>■課題把握のためのヒアリング調査の実施と支援施策についての検討</p> <p>地元信用金庫と連携しながら、市内の中小製造業者の抱える経営課題の把握のため、ヒアリング調査を実施するとともに、有効な支援施策について検討を行った。</p>
				進捗率等	H29.9.1 現在	(%)
					H30.3.31 現在	(%)
成果目標	企業OB技術者の現状把握及び活用の方策の整理			事業結果	<p>■ヒアリング調査の実施と支援施策の検討</p> <p>課題把握のため、市内中小製造事業者へのヒアリング調査を実施した結果、人材に関わる課題を大別すると「①製造現場に従事する人材の不足」「②経営課題解決の専門的な知識・技術等を持った人材の不足」の2種類の課題が存在することが判明し、それぞれ「①人材ニーズ解消型」と「②経営課題解決型」の支援施策を検討・企画した。</p> <p>■市内企業と人材の交流会の開催（人材ニーズ解消型）</p> <p>平成30年3月、ポリテクセンター静岡において、市内中小製造事業者と人材の交流会を開催し、事業者28社と人材91名が参加し、273回の面談が行われ、34件のマッチング（企業の採用面談に進んだ件数）が成立した。</p> <p>■「新現役交流会」セミナーの開催（経営課題解決型）</p> <p>市内中小製造事業者と専門的な知識・技術を持つ企業OB等（＝新現役）とのマッチングを通して経営課題の解決を図る「新現役交流会」開催の検討を行うため、平成30年1月に「新現役交流会」の豊富な運営サポート実績を持つ一般社団法人新現役交流会サポートを講師として招き、連携している地元信用金庫向けにセミナーを開催した。</p>	
総合計画の位置付け（分野別）	政策方針	商工・物流				
	大施策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります。				
	中施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出				
産業振興プラン位置付け	基本方向	人材の育成・確保		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>平成29年度は企業側のニーズに応じて人材ニーズ解消型の事業を積極的に推し進めてきたが、今後若年層の労働者が減少していくことを考慮すると、現在の延長線上で企業のニーズ（人手不足）に応え続けていくことは困難であるため、今後は高齢者や外国人等の様々な人材の活用に向けた仕組み作りを検討していくとともに、企業の本質的な課題の解決に向けた経営課題解決型の事業に注力をしていきたい。</p>	
	基本方針	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります。				
	基本施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係			その他（特記事項）		

ものづくり基本計画		重点項目		平成29年度	
事業名	③中小製造事業者等を取り巻く規制事項の洗い出しと緩和の検討	予算額		0千円	
		決算見込額		0千円	
事業概要	<p>中小製造事業者にとって多くの規制事項は、事業展開のスピードを鈍らせ、他事業者との競争力などを低下させています。</p> <p>こうした状況の改善については、規制事項の洗い出しとともに、緩和に向けて関係機関と協議していきます。</p>	取組状況	H29.9.1 現在	<p>■規制事項の洗い出しに向けての検討</p> <p>経済団体との懇談や企業訪問等を通じて規制事項の洗い出しを行うため、ヒアリング事項等について検討する。</p>	
			進捗率等	H29.9.1 現在	
補足事項		H30.3.31 現在			
成果目標	市内製造事業者が課題とする規制事項及び緩和要望等の把握並びに緩和実現に係る方針の検討		事業評価	<p>■経済団体との懇談等を通じた規制事項のヒアリング等の実施</p> <p>経済団体との懇談・要望や企業訪問等を通じた規制事項のヒアリングを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡商工会議所からの要望 ・静岡経済同友会からの提言 ・企業訪問を通じたヒアリング 	
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
	大施策				
	中施策				
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の未達成理由等 	<p>■ヒアリング先業種の拡大と規制緩和に向けての課題の整理等の実施</p> <p>特定の業種に留まることなく、幅広く、様々な業種について更なるヒアリングを実施するとともに、関係機関との具体的な協議に向け、ヒアリングで抽出された課題の整理を行っていく。</p> <p>更には、協議可能なものについては協議に着手する。</p>	
	基本方針				
	基本施策				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)		

ものづくり基本計画		重点項目		平成29年度	
重 点 項 目 ④	事業名	④本市の誇るべき中小製造事業者等の表彰		予算額	615千円
				決算見込額	410千円
	事業概要	<p>本市には、高いシェアを誇る製品の生産に加え、優れた生産技術を有する中小製造事業者があります。今後は、条例の表彰規程のもとで、こうした事業者を大いに称え、次代のものづくり産業を担う方々に広く周知を図っていきます。</p>		取組状況	<p>H29.9.1現在</p> <p>①静岡県知事表彰及び静岡市功労者表彰への推薦 静岡県知事表彰の産業開発振興功労及び静岡市功労者表彰の産業功労において中小製造事業に携わる方の推薦を実施する。 (推薦者数) ・県知事表彰 1者 ・市功労者表彰 2者</p> <p>②中小製造事業者の技術表彰制度の実施 本市には、優れた生産技術を有する中小製造事業者が数多くあることから、こうした事業者を称え、表彰する制度を実施する。</p>
		補足事項		進捗率等	<p>H29.9.1現在 0(%)</p> <p>H30.3.31現在 ①(表彰者数) 3者 ①100(%) ②(表彰社数) 3社 ②100(%)</p>
	成果目標	<p>①静岡県知事表彰及び静岡市功労者表彰への推薦 3者表彰 ②中小製造事業者の技術表彰制度 表彰社数 3社表彰</p>		事業結果	<p>①静岡県知事表彰及び静岡市功労者表彰への推薦 静岡県知事表彰の産業開発振興功労及び静岡市功労者表彰の産業功労において中小製造事業に携わる方の表彰を実施。 (推薦者数) ・県知事表彰 1者 ・市功労者表彰 2者</p> <p>②中小製造事業者の技術表彰制度の実施 本市には、優れた生産技術を有する中小製造事業者が数多くあることから、こうした事業者を称え、表彰する中小企業技術表彰制度を創設し、表彰を実施した。 (表彰社数) 3社</p>
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針		事業評価	
		大施策			
		中施策			
	産業振興プラン位置付け	基本方向		評価	<p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p> <p>■商工部内の他の表彰制度との連携 中小企業技術表彰と商工部における企業に対する表彰制度である「CSRパートナー企業表彰」、「女性の活躍応援事業所表彰」について、広報や表彰式等を連携し、一緒に行うことで、より効果的な広報や周知を目指していく。</p>
		基本方針			
	基本施策				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)		

ものづくり基本計画		重点項目		平成29年度	
事業名	⑤産業振興プラットフォームの考え方に基づく中小製造事業者支援		予算額		0千円
			決算見込額		0千円
事業概要	<p>第2次静岡市産業振興プランには、中小製造事業者を多角的に支援する考え方として、産業振興プラットフォームが示されています。</p> <p>今後は、このような考え方をもとに、中小製造事業者の抱える課題等への対応を図る支援を推し進めていきます。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■企業情報の収集</p> <p>プラットフォームによる支援を実施するため、企業相談・企業訪問等を通じた企業情報を収集（ニーズの発掘）した。</p>
				進捗率等	H29.9.1 現在
補足事項		H30.3.31 現在	(プロジェクト支援数) 5件		100 (%)
成果目標	プロジェクト支援数 5件/年				
⑤ 総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流	事業結果	<p>■産業支援機関連携会議の実施</p> <p>静岡市産学交流センターをはじめとした、市内産業支援機関及び関係課により、支援機関同士の情報共有及び個別支援案件の協議等を行うための会議を実施した。</p>	
	大施策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します		<p>■支援の実施</p> <p>静岡市産学交流センター、大学、金融機関等の複数の支援機関と連携し、市内中小企業等の支援を5件行った。</p>	
	中施策	戦略産業の育成・集約を推進			
産業振興プラン位置付け	基本方向	戦略産業振興プラットフォーム	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■個別支援案件の掘り起し</p> <p>プラットフォーム支援により、次代を担う本市を代表する産業を輩出するためには、個別支援案件の掘り起しが必要である。そのために、これまで以上に企業訪問等を通じた情報の収集に努める。</p>
	基本方針	戦略産業振興プラットフォームによる支援			
	基本施策				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係 (H30年度は中小企業支援係)		その他 (特記事項)		

ものづくり基本計画		重点項目		平成29年度		
事業名	⑥国や県等の補助制度の情報提供と活用モデルの提案		予算額		0千円	
			決算見込額		0千円	
事業概要	<p>中小製造事業者が事業の展開を図る上で、補助制度の活用は有効な手段の一つであります。</p> <p>そうした中小製造事業者の取組を支援するため、国や県等の補助制度に関する情報の提供をはじめ、実際に活用した事業者をモデルケースとして取りまとめ、円滑な利活用が図れるような提案を行っていきます。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■国や県等の補助制度に関する情報の収集</p> <p>国や県、その他産業支援機関等の発行する施策利用ガイドブック及びホームページ掲載情報等により、補助制度に関する情報収集を実施することとした。</p>	
				進捗率等	H29.9.1 現在	(%)
補足事項		H30.3.31 現在	(%)			
成果目標	国や県等の補助制度に関する情報の整理及び製造事業者への適時適切な情報提供		事業結果	<p>■国や県等の補助制度に関する情報収集の実施</p> <p>国や県、その他産業支援機関等の発行する施策利用ガイドブック及びホームページ掲載情報等により、補助制度に関する情報収集を行った。</p>		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価		
	大施策					
	中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点</p> <p>・</p> <p>目標の未達成理由等</p>	<p>■情報提供方法の検討及び提供の実施</p> <p>情報収集後の中小製造事業者への効果的な情報提供方法及び収集情報をどのような形で取りまとめ、提供することがより分かりやすいか等の観点の検討がなされていないため、収集情報の提供に向け、検討・改善に取り組んでいく。</p>		
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

ものづくり基本計画		重点項目		平成29年度	
事業名	⑦展示販売会等の開催による販路拡大に向けた支援		予算額		0千円
			決算見込額		0千円
事業概要	<p>中小製造事業者の販路拡大については、展示場面積で全国10位の規模を有する公益財団法人静岡産業振興協会のツインメッセ静岡を会場として、展示販売会や商談会等の開催を進めていきます。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■利用促進に向けた協議の実施 2020年オリンピック・パラリンピック開催時の催事誘致を積極的に推し進めるため、グランシップ(公財)静岡県文化財団)との間で協議を実施。</p>
	補足事項			H29.9.1 現在	0(%)
				H30.3.31 現在	市内関連施設・団体と連携した誘致活動 1件/年
成果目標	市内関連施設・団体と連携した誘致活動 1件/年				
⑦ 総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業結果	<p>■利用促進に向けた首都圏向け誘致活動の実施 グランシップと共同で、東京ビッグサイト等を利用している展示会主催団体等を招待し、両施設の見学会を実施した。見学会では市観光交流文化局及び経済局、(公財)するが企画観光局を交え、施設の利用促進や地域魅力のPRに努めた。</p>
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	中施策	新市場・販路開拓に対する支援			
産業振興プラン位置付け	基本方向			事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■次年度以降も継続して首都圏関係機関等へのPRや誘致活動を実施する。</p> <p>■また、これらの事業・活動において、市と(公財)静岡産業振興協会の連携を深めていく。</p> <p>■展示会等の開催については、誘致による開催だけでなく、主催事業としての開催も含め、検討していく。</p>
	基本方針				
	基本施策				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)		

ものづくり基本計画		重点項目		平成29年度		
事業名	⑧ものづくり関連の民間活動団体への支援	予算額		0千円		
		決算見込額		0千円		
事業概要	<p>地域で活躍するものづくり関連団体としては、大手製造企業出身のエンジニアを中心に組織とする日立清水理科クラブやNPO法人マンパワーカフェが挙げられます。</p> <p>日立清水理科クラブでは、子ども達への理科教育をはじめ、ものづくりの醍醐味などを併せて提供しています。</p> <p>また、NPO法人マンパワーカフェについては、中小製造事業者が抱える課題への的確なアドバイスなどを行っています。</p> <p>こうした地域社会に大きな貢献を果たしている公益性の高い団体に対しては、広報等を通じて団体活動を幅広く周知するなど、積極的な側面支援を展開していきます。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■会報の配架 日立清水理科クラブが毎月発行する会報を産業振興課カウンターに配架し、活動の周知を実施。</p> <p>■OB人材の活用について 次年度以降のOB人材活用事業の実施に向け、NPO法人マンパワーカフェの活動状況についてヒアリングを行う予定。</p>	
	補足事項			進捗率等	H29.9.1 現在	(%)
					H30.3.31 現在	(%)
成果目標	広報等による支援の実施		事業評価	事業結果		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			<p>■会報の配架 日立清水理科クラブが毎月発行する会報を産業振興課カウンターに配架し、活動の周知を実施した。</p> <p>■OB人材の活用について 平成30年度に開催を予定している「静岡市新現役交流会」等のOB人材活用施策について、NPO法人マンパワーカフェと意見交換を行った。</p>		
	大施策					
	中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点</p> <p>・</p> <p>目標の未達成理由等</p>	<p>■日立清水理科に対しては、次年度以降も側面支援を展開していく。</p> <p>■NPO法人マンパワーカフェのOB人材を活用した活動についてPRを行う。</p>		
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

事業 1	ものづくり 基本計画	(方針1) 企業の誘致と留置の推進		平成29年度					
	事業名	(事業1) 企業立地の推進		予算額	542,000 千円				
				決算見込額	490,067 千円				
	事業概要	取組 状況	H29.9.1 現在	<p>企業の誘致と留置の推進については、すでに策定済みの「静岡市企業立地戦略指針」や企業立地促進法に基づく「静岡市地域の基本計画」を進めるとともに、事業者の抱える課題等を把握していきます。また、企業に対しては、遊休用地・設備等の再編をはじめ、市内における事業継続、新規立地を促す情報提供及びPR活動のほか、優遇策の提供により、市内企業の留置と市外からの新規誘致を積極的に進めます。</p> <p>特に、広域交通インフラを活かした物流関連産業の立地促進、都市機能の集積を活かした都市型関連産業の立地促進、そして第2次静岡市産業振興プランに掲げた戦略産業の立地促進などを実施していきます。</p> <p>さらに、企業立地用地の確保の推進については、民間による開発促進に向けた支援の拡充のほか、公共による開発を含めた用地確保を検討します。</p>	<p>市外企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信を積極的に行うことで、企業立地の促進に努めている。</p> <p>企業が具体的な立地物件を求めている場合は、市内の不動産業者と連携し、条件に合う物件情報を提供しマッチングを行っている。</p> <p>また、企業ニーズに合わせて助成制度の見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担うなど、企業に寄り添った支援を実施している。</p> <p>・新規企業立地件数 26件 ・市内企業訪問 389件 ・市外企業訪問 119件 ・企業立地相談件数 189件</p>				
						進捗 率等	H30.3.31 現在	(新規企業立地件数) 26件	153 (%)
							補足 事項		<p>■新規企業立地件数 26件</p> <p>市外企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信を積極的に行うことで、企業立地の促進に努めている。</p> <p>企業が具体的な立地物件を求めている場合は、市内の不動産業者と連携し、条件に合う物件情報を提供しマッチングを行っている。</p> <p>また、企業ニーズに合わせて助成制度の見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担うなど、企業に寄り添った支援を実施している。</p> <p>(参考事項)</p> <p>・市内企業訪問 389件 ・市外企業訪問 119件 ・企業立地相談件数 189件</p>
	成果目標	新規企業立地件数 17件/年 (第3次総合計画) 平成27~30年度 68件 平成31~34年度 68件		事業結果					
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	3 商工・物流分野		事業 評価	<p>次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等</p> <p>今後予定されている大規模立地案件への対応のため、助成制度の見直しや、交付事務手続きの簡素化等の検討を行う。</p>			
		政策	1 次代を担う本市を代表する産業を生み出します						
		施策	3 企業の誘致を留置の推進						
産業振興 プラン 位置付け (分野別計 画、総合計 画と同様)	分野	3 商工・物流分野							
	政策	1 次代を担う本市を代表する産業を生み出します							
	施策	3 企業の誘致を留置の推進							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他 (特記事項)						

事業 2	ものづくり基本計画	(方針2)新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成29年度					
	事業名	(事業2)全国規模等の見本市への出展助成		予算額	9,200千円				
				決算見込額	9,072千円				
	事業概要	<p>市内の中小製造事業者が、販路を開拓し、製品の販売促進に向けて、市内外で開催される全国規模、または国際的な展示会や見本市等に出展又は開催する経費のうち、小間料等を助成します。</p> <p>助成内容の拡充については、助成に基づく成約額等の実績などを考慮しながら検討していきます。</p>		取組状況	H29.9.1現在	<p>■補助申請件数及び執行額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助申請件数 42件 ・執行額 8,920千円 			
					補足事項		進捗率等	H29.9.1現在	— (%)
								H30.3.31現在	商談成約率(名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合) 11% 220 (%)
	成果目標	商談成約率(名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合) 5%		事業結果	<p>■申請件数:45件</p> <p>執行額:9,072千円</p> <p>名刺交換数(確認できたもの)7,290件</p> <p>商談に進んだ件数 774件</p> <p>■海外展示会への出展を行った企業数は4社。</p> <p>■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。</p> <p>■補助金の利用回数に応じた補助上限額の引き下げを導入した。</p>				
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■申請事業者の固定化が課題となっているため、今後は周知方法を工夫するなどして、広く本制度の周知を図るようにしたい。</p>		
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
		中施策	新市場・販路開拓に対する支援						
産業振興プラン位置付け	基本方向		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■申請事業者の固定化が課題となっているため、今後は周知方法を工夫するなどして、広く本制度の周知を図るようにしたい。</p>				
	基本方針								
	基本施策								
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)						

事業 3-1	ものづくり基本計画	(方針2)新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成29年度		
	事業名	(事業3)首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-1)特産品東京展示会事業		予算額	4,601千円	
				決算額	4,597千円	
	事業概要	この事業は、首都圏の商業施設等(東京丸の内KITTEやJR新宿駅構内のイベントコーナーなど)において、本市特産品の展示販売のほか、職人による実演等を実施し、伝統的工芸品を含む地場産品の販売促進に取り組めます。 また、展示会事業では、展示販売だけでなく、バイヤーを招いて商談機会を設けるなど、更なる販売促進に結び付ける取組も実施していきます。 開催会場については、本市地場産業にとって、収益性の向上等の効果が見込める会場を検討して選定します。		取組状況	H29.9.1現在	■10月11日～13日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 新宿展示会」を開催し、伝統工芸品を中心とした、本市地場産品等の販売を予定している。伝統工芸実演では、するがクリエイティブに所属する職人による実演を予定している。また、「いつでもどこでもお茶を ポータブル茶室で楽しむ静岡茶」と題して静岡茶教室を開催するなど広く本市をPRする。
					進捗率等	H29.9.1現在
				補足事項		H30.3.31現在
	成果目標	会場売上金額(万円) 500万円/年(2,000万円/4年)		事業結果	■10月11日～13日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 新宿展示会」を開催し、伝統工芸品を中心とした本市地場産品等の販売を実施した。伝統工芸実演では、するがクリエイティブに所属する職人による実演を行った。また、「いつでもどこでもお茶を ポータブル茶室で楽しむ静岡茶」と題して静岡茶教室を開催するなど広く本市をPRした。各職人の丁寧な接客で展示後の商談にもつながり、大きな成果を得ることができた。	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		期間中の来場者数 約13,000人 期間中の売上額 約4,899千円	
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進			
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	■当展示会は16回目を迎え、来場者の約4割がリピーターであるなど首都圏に定着してきたと言える。しかし、約2割の方は静岡市の工芸品を知らないと回答しており、工芸品のPRを強化することが課題である。 ■静岡ならではの企画展の開催や、デジタルサイネージ、facebook等電子情報媒体を活用していくことで幅広い年齢層の方へ来場していただく。また、出店者の配置を確認し、引き続き売上増を目指していく。 ■目標未達成の理由 例年より新宿駅西口の利用者が少なく、目標とする売上金額を達成できなかった。現在利用していない1/4エリアを他団体と協力し西口広場イベントコーナー全体を借りることで、盛り上がりある展示会を行えるよう検討していく。	
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)			

事業 3-2	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成29年度			
	事業名	(事業3) 首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-2) ホビーのまち静岡推進事業		予算額	74,628千円		
				決算見込額	73,594千円		
	事業概要	取組状況	H29.9.1 現在	<p>ホビーのまち静岡の推進を図る中では、本市の特長であるプラスチックモデル産業を基盤としながらも、今後は、クリエイティブ、アート、コンテンツ等とホビー産業の関連分野との新たな連携や融合に取り組んで、ホビー関連産業の裾野拡大に努めます。</p> <p>こうしたホビー関連産業の広がりに向けては、動画配信のほか、首都圏の商業施設等において、PR活動等を継続的に実施し、更なる顧客の拡大や新たな購買層の獲得に結び付けていきます。</p> <p>このような裾野拡大やPR活動等の継続的な実施により、多くの方々に「静岡市に行けば、一生楽しめる趣味が見つかる」や、「ホビーと聞けば、即座に静岡市をイメージする」と認識していただけるように努めていきます。</p>			
				進捗率等	H29.9.1 現在	138,021人	56(%)
					H30.3.31 現在	233,888人	95(%)
	成果目標	関連施設・イベント入込客数 247千人		<p>下記のとおりにプロモーション事業を行った。</p> <p>■首都圏PR(第1回目) 名称:ホビーのまち静岡inイオンレイクタウン 期間:平成30年3月10日~11日(2日間) 会場:レイクタウンmori 1F 木の広場(埼玉県越谷市) 来場客数:10,000人</p> <p>■小田急電鉄広告掲載 掲載枚数:中刷り広告 2,000枚(全車両)/駅貼りポスター 70枚(全駅) 掲載期間:中吊り広告 4日間/駅貼りポスター 2週間</p> <p>■ホビーのまち静岡 動画配信 概要:ホビーのまち静岡の歴史やイベントを紹介するPV(H27年度作成)をyoutubeやホビースクエアHPで動画を配信した。</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流				事業結果
		大施策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
		中施策	戦略産業の育成・集積を推進				
産業振興プラン位置付け	基本方向	戦略産業の振興	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>①首都圏PRについては、より効果的なイベント内容及び来場者が静岡市を感じられるような会場レイアウト作りを検討する。</p> <p>②各プロモーション事業を実施したことによる効果を検証し、次年度以降の施策に反映していく。</p>			
	基本方針	観光・ブランド産業					
	基本施策	ホビー産業育成支援事業					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)				

事業 3-3	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成29年度			
	事業名	(事業3) 首都圏におけるプロモーションの強化 (事業3-3) しずおか葵プレミアム認証事業		予算額	2,350千円		
				決算見込額	2,110千円		
	事業概要	この事業では、本市ならではの魅力を生かした認証品の販売支援等を通じて、認証事業者の収益向上に努めるとともに、消費者に本市を思い描いてもらう認証品づくりについて、認証事業者、ブランド認証専門委員、関連事業者、市が連携を図りながら実施していきます。 具体的には、バイヤーを含むブランド認証専門委員による認証品の販売促進に向けた販路の選定や、大消費地である首都圏等の商業施設等を想定した販売促進を支援します。 さらに、その内容を踏まえて新規認証再開に向けた制度設計の検討を行い、新たなステージでの事業推進に取り組んでいきます。		取組状況	H29.9.1現在	<p>■展示・販売会等実績(4/1~9/1現在までに実施のもの)</p> <p>①第61回静岡まつり(3/31~4/2)</p> <p>②2017年 中国天津投資貿易商談会(5/6~9)</p> <p>③三保原屋LOFT 市民投票PR展示(8/21~10/31)</p> <p>④d-labo静岡 市民投票PR展示(8/21~10/31)</p> <p>⑤有楽町“よい仕事おこし”フェア(8/22~23)</p> <p>⑥ペガサート地下通路 市民投票PR展示(8/23~10/31)</p> <p>⑦駿府楽市「しずおか素敵な手土産展」(8/31~9/6)★</p> <p>※「★」は市民投票PR関連</p>	
				進捗率等	H29.9.1現在	展示・販売会等開催回数 7回	58(%)
					H30.3.31現在	展示・販売会等開催回数 24回	200(%)
	成果目標	展示・販売会等開催回数 12回/年		事業結果	<p>■展示・販売会等実績(9/2~3/31に実施のもの)</p> <p>⑧アビタ静岡店 市民投票PRイベント(9/2、3)★</p> <p>⑨清水エスハルス ホームゲームチラシ配布(9/23)★</p> <p>⑩しずちか 市民投票PR展示(9/28~10/11)★</p> <p>⑪名古屋「ビジネスフェア2017」(10/5)★</p> <p>⑫しんきんフェアしずおか2017(10/11)★</p> <p>⑬しずまえ・オクシズまつり(10/28)★</p> <p>⑭アビタ静岡店 生誕12周年イベント(11/2)</p> <p>⑮産業フェアしずおか2017(11/25、26)</p> <p>⑯ホビーのまち静岡 クリスマスフェスタ2017(12/9、10)</p> <p>⑰静岡市交流会in東京(12/13)</p> <p>⑱駿府匠宿「しずおか葵プレミアム展」(1/25~2/6)</p> <p>⑲静岡おみやプロジェクト「首都圏商談会(秋葉原)」(2/2)</p> <p>⑳静岡おみやプロジェクト「お披露目販売会」(3/24、25)</p> <p>㉑~㉒ペガサート地下通路 認証品展示4回</p> <p>※「★」は市民投票PR関連</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	分野別					
		政策					
		施策					
産業振興プラン位置付け	分野別		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■H30年度は「しずおか葵プレミアム」の認知度を高めることでブランド価値の向上を図るため、市内外へ広く情報発信できるWEBコンテンツ(動画等)を活用した積極的なPRを実施する。</p>			
	政策						
	施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 海洋産業イノベーション推進係 (H30年度担当:工業振興係)		その他(特記事項)				

事業 4	ものづくり基本計画	(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援(異業種交流支援を含む)		平成29年度		
	事業名	(事業4) 中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援		予算額	76千円	
				決算見込額	0千円	
	事業概要	中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援については、新規顧客開拓や新分野進出を目指す市内企業を支援するため、情報発信及びビジネスマッチングの機会提供を推進します。		取組状況	H29.9.1 現在	■まちみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おおた研究・開発フェア 平成29年10月26日～27日 出展予定0社 ・おおた工業フェア 平成30年1月31日～2月2日 出展予定0社
	H30.3.31 現在	(支援事業への参加企業数) 0社 0(%)				
	成果目標	おおた研究・開発フェア及びおおた工業フェアの出展企業数 2社/年		事業結果	事業評価	■まちみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おおた研究・開発フェア(東京都大田区) 平成29年10月26日～27日 出展企業なし ・おおた工業フェア(東京都大田区) 平成30年1月31日～2月2日 出展企業なし ※応募企業はあったものの、出展者多数により、出展ができなかった。
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	産業振興プラン位置付け	施策1	新市場・販路開拓に対する支援			
分野						
政策						
施策1						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針2) 新市場・販路開拓に対する支援 (異業種交流支援を含む)		平成29年度		
事業名	(事業5) 地場産品の販路開拓と販売促進	予算額	23,258 千円			
		決算額	23,097 千円			
事業概要	<p>この事業では、伝統工芸創造部会の提言等に基づいて、次に掲げる5つのポイントのもとで、伝統的工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を検討して事業化を進め、地場産業関連事業者の収益性の向上に努めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■(事業5-1) 伝統工芸品等の展示販売会の充実化 ■(事業5-2) 海外における地場産品の販路開拓 ■(事業5-3) インターネットの活用による地場産品の販売促進 ■(事業5-4) 問屋の機能の再興に向けた検討 ■(事業5-5) 地場産品販売拠点の充実化 <p>伝統的工芸品を含む地場産品については、販路開拓と販売促進に関する課題を抱えているため、顧客のニーズを把握した上で、展示販売会の充実をはじめ、海外販路の開拓、インターネットを活用した販売促進に向けた支援を展開します。</p> <p>また、地場産品の販売拠点であるJR静岡駅構内の駿府楽市については、観光事業担当課などとも連携し、観光客の来店を促す特典等を検討するなど、これまで以上に販売を促進させる取組を推進していきます。</p> <p>さらに、伝統的工芸品については、売上げが見込める商品づくりに努めていきます。</p> <p>そのためには、首都圏等におけるテストマーケティングの実施をはじめ、顧客ニーズに関する情報を的確に伝統工芸職人に伝えるなど、消費者と生産者を結びとともに、伝統工芸分野の収益性を高める問屋の機能の再興を検討していきます。</p>	取組状況	H29.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■静岡市の特産品東京展示会事業、シズオカ「KAGU」メッセ等、各種展示会開催による販路拡大を行う ■駿府楽市との定例検討会の実施 5回 ■JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間28回の展示会を開催予定、内現在までに12展示会を実施した。 <p>4/1~8/31までの来場者数 170,590人</p>		
		進捗率等	H29.9.1 現在	<p>(5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 12回 44%</p> <p>(5-5) 駅駿府楽市来場者数 17.1万人 41%</p>		
成果目標	<p>(5-1) 各展示販売会来場者数 270,000人</p> <p>(5-2) (海外に向けた) 開発と販路等の検討</p> <p>(5-3) 駿府楽市Webページ改修(済)</p> <p>(5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 27回</p> <p>(5-5) 駅駿府楽市来場者数 41.5万人</p>	H30.3.31 現在	<p>(5-1) 各展示販売会来場者数 274,423人 102%</p> <p>(5-2) JETROの採択に至らなかったため未実施</p> <p>(5-4) 業界及び駿府楽市との検討会実施回数 28回 104%</p> <p>(5-5) 駅駿府楽市来場者数 42.4万人 102%</p>			
		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■静岡市の特産品東京展示会事業、シズオカ「KAGU」メッセ等、各種展示会の入場者数 285,621人 ■JETROの事業枠で海外の展示会に出展し、静岡市の工芸品(静岡挽物等)の展示を行う予定であったが、採択に至らなかったため未実施 ■駿府楽市と業界、市の検討会の実施 28回 ■JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間28回の展示会を開催した。年間来場者数 424,320人 			
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進				
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流		事業評価	<p>■駿府楽市との定例検討会や業界との協議は実施できているが、問屋の機能に係る協議に発展させていく必要がある。</p> <p>■海外でのシティプロモーション等の場を活用し工芸品等産品をPRしていく必要がある。</p> <p>■駿府楽市の静岡市特産品展示コーナーの展示会は引き続き継続させ、一層の来場者向上を図っていく。</p> <p>■駅楽市に関しては開店時から大規模な内装修繕が行われていない。小規模修繕は実施したが、照明の店舗部分と合わせ展示コーナーの大規模なリニューアルを実施する必要がある。</p>	
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)			

事業 6	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度			
	事業名	(事業6) 新産業開発振興機構の活用に関する検討		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	<p>地場製品の開発や販促をはじめ、地場産業界の競争力強化に関しては、新たな進展を図るため、製造事業者の集積機関である新産業開発振興機構との連携促進に向けて検討を進めます。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■静岡商工会議所機構事務局との協議を継続し、木漆部会員を活用し伝統工芸を含めた地場産業界と新産業開発振興機構との連携を模索していく。</p> <p>■機構が有する多様な経営資源のうち、伝統工芸業界とマッチングできる業種を検討しその調整をしていく。</p> <p>■地場産業企業と連携について協議した</p>	
					進捗率等	H29.9.1 現在	(%)
						H30.3.31 現在	(%)
	成果目標	新産業開発振興機構との連携促進に向けた検討		事業評価	事業結果	<p>■静岡商工会議所機構事務局との連携の中で、大学や業界団体とのマッチング可能性を調査したが、結びついていない。</p> <p>■地場産業企業との協議を実施したが、同機構のノウハウ活用までは至っていない。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■静岡商工会議所機構事務局との協議を継続し、伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携可能性を引き続き検討していく。</p> <p>■地場産業団体に対し、引き続き大学や研究機関との連携について希望調査していく。</p>			
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

ものづくり基本計画		(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度		
事業	事業名	(事業7) 中小企業技術開発支援事業		予算額	千円	
				決算見込額	千円	
	事業概要	<p>この事業では、中小製造事業者や業界団体等を訪問し、開発や生産技術等に関する課題などを把握した上で支援テーマを設定し、中小製造事業者の生産活動を支援していきます。</p> <p>初年度である平成26年度には3Dプリンタをテーマに設定し、セミナーの開催や、市・事業者で組織された研究会を通じて、商品開発を支援する仕組み作り等について検討を進めています。</p> <p>今後は、県や関係機関との連携を強化しながら、3Dプリンタや、知的財産を利用した技術開発事業を検討し、引き続き、中小製造事業者に対する生産活動を支援していきます。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	■開発や生産技術等に関する課題を抱える市内製造事業者と課題解決に向けた各種訓練コースを備える清水テクノカレッジ（静岡県立清水技術専門校）との橋渡しのための取組について検討を行った。
				進捗率等	H29.9.1 現在	0 (%)
				補足事項	H30.3.31 現在	(市内製造事業者対象とした支援施設見学開催件数) 1件
	成果目標	市内製造事業者対象とした支援施設見学開催件数 1件/年		事業結果	事業評価	<p>■清水テクノカレッジ（静岡県立清水技術専門校）において、市内製造事業者7社を対象に施設見学会を実施した。</p> <p>施設見学会では、市内製造事業者が清水テクノカレッジの訓練内容に理解を示すとともに、今後希望する訓練内容等について、意見交換を行うことができた。</p>
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
	産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■製造事業者と支援機関等との橋渡しに向けた取り組みは次年度以降も継続して実施していく。</p>	
基本方針						
基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業 8	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度						
	事業名	(事業8) 若手グループの商品開発支援(ものづくり相談・支援)		予算額	1,143千円					
				決算見込額	1,128千円					
	事業概要	この事業では、市内地場産業の活性化に向けて、デザイン、加工技術、経営等に関する各種講演会や講習会のほか、事業者のニーズに基づいて、実務経験等が豊富な人材を派遣し、地場産業関連事業者を支援します。		取組状況	H29.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 塗装技術研究会の実施 2回(計2回予定) ■販路開拓講演会の開催 販路開拓講演会0回(1回予定) ■商品開発支援事業の実施 漆器商品開発研究会(1回)(1回予定) ■販売実践講座の実施 VMD実践指導0回(1回予定) 				
						補足事項	進捗率等	H29.9.1 現在	講演会、講習会開催回数 1回	33(%)
								H30.3.31 現在	講習会、講習会 指導会開催回数 5回	167(%)
	成果目標	講演会、指導会等の開催回数 3回		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 塗装技術研究会の実施 2回 ■商品開発・販路開拓講演会の開催 商品開発・販路開拓講演会 1回 「くらしをうるおす木と漆～創作工房・輪島キリモトの挑戦」(桐本泰一氏) ■商品開発支援事業の実施 漆器商品開発研究会 1回 「乾漆研究会」 ■実践講座の実施 販売実践講座 1回(4日連続) 「売上をつくる売り場を、つくる～VMDビジュアルマーチャンダイジング実践講座」(繁田和美氏) 					
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流							
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります							
		中施策	新製品・技術開発等に対する支援							
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■漆器商品流通化の実施 乾漆を中心とした漆器商品開発については開発段階は高いレベルへと達しており、専門家指導により販路開拓を継続していく。 ■実践講座の継続 販売実践講座が好評を博したように、直売への関心が高いことから、VMD等の手法を学ぶ実践講座を継続していく。 					
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります								
	中施策	新製品・技術開発等に対する支援								
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)							

ものづくり基本計画		(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度		
事業名	(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援 (事業9-1) 商品企画・開発支援プロジェクト事業	予算額		指定管理料88,290千円の一部 千円		
		決算見込額		指定管理料88,290千円の一部 千円		
事業概要	商品企画や開発支援では、産学交流支援センターにおいて、マーケティング等の専門家を活用し、地域資源を生かした商品づくりを支援します。	取組状況	H29.9.1 現在	<p>【静岡おみやプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト期間 平成29年6月中旬～平成30年3月末 ・上限枠 6社 ・これまでに、勉強会、参加企業訪問、ニーズ調査を実施。マーケティング戦略に沿った商品開発に向け進捗中。 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト及び戦略策定 ・商品開発 ・パッケージ開発 		
			補足事項	進捗率等	H29.9.1 現在	商品化件数 0件
H30.3.31 現在	商品化件数 6件	100 (%)				
成果目標	商品化件数 6件/年		<p>【静岡おみやプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト期間 平成29年6月中旬～平成30年3月末 ・参加企業数 6社 ・事業アドバイザーのもと、市場の動向を見直し、消費者ニーズ調査を行うなど、マーケティング戦略に沿った商品開発を一貫して支援した。 ・商品化件数 6件 			
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 商工・物流				事業結果
	大施策	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
	中施策	01 戦略産業の育成・集積を推進				
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 商工・物流	次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等			
	基本方針	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
	基本施策	01 戦略産業の育成・集積を推進				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係 (H30年度は中小企業支援係)		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度		
	事業名	(事業9) 専門家の指導による商品企画・開発支援 (事業9-2) 新商品・特許事業		予算額	6,150千円	
				決算見込額	5,336千円	
	事業概要	市内中小製造事業者が取り組む新商品の開発及び特許等の産業財産権の取得などについては、その出願経費の一部を助成します。 なお、新商品開発の経費助成については、本市産業経済の牽引が期待される産業に関して、産業振興プランに掲げる戦略産業の事業者を対象に助成内容の拡充について検討します。		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、4件の補助金交付申請を受理している。今後、1月末までに中間検査を実施し、年度末の事業完了報告を経て補助金を交付する。(交付決定額:3,920千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 9月1日現在、補助金交付申請件数は12件となっている。 特許:10件、実用新案:2件 今後、事業完了報告を経て補助金を交付する。 (交付決定額:1,200千円)</p>
						補足事項
	H30.3.31 現在	<p>新商品開発及び産業財産権出願等の件数 22件 (内訳) 新商品助成件数 4件 産業財産権助成件数 18件</p> <p>88 (%)</p>				
	成果目標	新商品開発及び産業財産権出願等の件数 25件/年		事業結果	事業評価	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、4件の補助金交付申請を受理した。中間検査で現地訪問により進捗状況を確認したところ、各事業所とも課題点等があったものの、順調に開発を進めており、交付決定した4社全て、年度内に開発を終えることができた。(交付金額:3,540千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 年度末までに次のとおりの交付申請があった。 申請件数 18件 (交付金額:1,796千円)</p> <p>■事業の周知活動 市内金融機関等の各関係企業、団体への訪問や会議においての説明を通じて、本事業の周知を図り、助成制度の活用促進に努めた。</p>
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流			
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		中施策	新商品・技術開発等に対する支援			
産業振興プラン位置付け	基本方向		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■新商品を開発した時点で事業終了とすることなく、開発された製品の販路開拓や他制度との連携に向けた検討を行う。</p> <p>■静岡県発明協会と連携を図り、補助制度を活用しながら企業の積極的な産業財産権出願を促進し、市内製造業の技術保護につなげたい。</p>		
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)	<p>■平成29年度から、補助対象を特許・実用新案に限定している。</p>		

ものづくり基本計画		(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度			
事業	事業名	(事業10) アーティストとのコラボレーション支援推進 (ニューウェーブしずおか創造事業)		予算額	6,437 千円		
				決算見込額	6,305 千円		
	事業概要	この事業では、本市の特色を生かして開発される家具等の新商品開発と新規の流通開拓を支援します。 具体的には、意欲ある企業による研究会の立ち上げのほか、事業者とデザイナー等との協働によって開発された商品を流通市場で広くPRすることで販売促進を支援します。		取組状況	H29.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■参加者募集とデザイナー公募によるデザイン開発 新たに参加企業を募集しデザイナーを公募。プロデューサーの指導のもとでデザイナーと協同しデザイン開発を行い試作を行った。 ■商品試作とりデザイン デザイン開発された商品を試作中。プロデューサー指導のもとりデザインを実施予定。 ■展示会への出展(予定) 東京インターナショナルギフトショー」に出展予定。各種PRツールを作成し、商品化を模索する。 	
				進捗率等	H29.9.1 現在	0 (%)	
					H30.3.31 現在	(開発点数) 27点 135 (%)	
	成果目標	開発点数 各年度 20点		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■事業参加者及びデザイナーの各チームの決定 意欲ある事業所を募り、参加6者が公募デザイナー6名を選出し、プロデューサー指導のもと協議を行った。 ■デザイン開発 各チームごとに協議を繰り返し、ビジョンの策定とそれに基づくデザイン開発を行った。 ■試作とりデザインによる製品試作 デザイン図面に基づき、試作を行い、必要に応じりデザインや再試作等を実施し、プロトタイプを開発した。 ■販売ツール作成と広報活動 開発品の撮影等を行いパンフレットを作成。HP等で展示会等について告知を行いPRに努めた。 ■展示会への出展 「東京インターナショナルギフトショー」(2月)に出展。多数の来場者の反応を確かめ、営業活動を行った。 ■商品化の模索 反響を基に商品修正等を実施。各展示会出展等での反響先を中心として、営業活動を継続。販路開拓作業を継続実施した。 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■改善点等 流通率をより高めるため、首都圏での見本市出展の反復化に加えて、小売店出展や小規模展示会等により、市場への展開を多面化する。
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		中施策	新製品・技術開発等に対する支援				
	産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■改善点等 流通率をより高めるため、首都圏での見本市出展の反復化に加えて、小売店出展や小規模展示会等により、市場への展開を多面化する。 	
大施策		世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
中施策		新製品・技術開発等に対する支援					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

ものづくり基本計画		(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度	
事業名	(事業11) 地域課題に係る産学共同研究への支援	予算額		指定管理料88,290千円の一部	千円
		決算見込額		指定管理料88,290千円の一部	千円
事業概要	この事業は、経済環境の変化によって生じる高度で複合的な地域課題を解決するため、地域の産業界をはじめ、新産業開発振興機構などが大学の知見・人材・分析能力を生かし、共同で取り組む調査研究を支援します。		取組状況	H29.9.1 現在	【産学交流センター】 ・地域課題に係る産学共同研究に対する委託事業：委託研究数 9件 ・委託期間：平成29年7月～平成30年3月末 ・成果発表：平成30年3月15日
	補足事項		進捗率等	H29.9.1 現在	(産学共同研究数) 9件 129 (%)
				H30.3.31 現在	(産学共同研究数) 9件 129 (%)
成果目標	7件/年		事業結果	事業評価	【産学交流センター】 ・地域課題に係る産学共同研究に対する委託事業：委託研究数 9件 ・委託期間：平成29年7月～平成30年3月末 ・成果発表：平成30年3月15日 ・過去の成果事例集を作成し、フォローアップ支援及び産学共同研究の普及に努めた。
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 商工・物流			
	大施策	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
	中施策	01 戦略産業の育成・集積を推進			
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 商工・物流	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・良質研究テーマの発掘	
	基本方針	01 次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
	基本施策	01 戦略産業の育成・集積を推進			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係 (H30年度は中小企業支援係)		その他(特記事項)		

事業 12	ものづくり基本計画	(方針3) 新製品・技術開発等に対する支援		平成29年度			
	事業名	(事業12) 職人に対する商品開発手法等の教育	予算額		0千円		
			決算見込額		0千円		
	事業概要	<p>この事業では、伝統工芸創造部会の提言に基づいて、伝統工芸職人の新たな商品づくりに向けた活動を支援するため、顧客ニーズを考慮した商品開発手法などを学習する機会を提供します。</p> <p>マーケットに触れる機会が多くない職人や工房では、自己完結型の商品に陥る危険性があります。</p> <p>そのため、技術的側面に加え、マーケットの声を傾聴するとともに、それをどのように商品開発に生かしていくのかという教育の場が必要となります。これ以外にも、販売促進に向けた知識をはじめ、ビジネスとして展開できるまでの教育機会を提供します。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■専門家による商品開発や指導会等の場の提供</p> <p>職人や事業所経営者等を集め、デザイン又はマーケティング等の専門家を招聘し、商品開発の基礎をはじめマーケティングの手法から販路開拓に向けての知識等を教育する場を設ける(ものづくり相談支援事業にて充当)。 1回</p>	
				進捗率等	H29.9.1 現在	1回	100(%)
					H30.3.31 現在	1回	100(%)
	成果目標	職人向け指導会等開催回数 1回		事業結果	<p>■専門家による商品開発や指導会等の場の提供</p> <p>職人等を集め、デザイン又はマーケティング等の専門家を招聘し、商品開発の基礎をはじめマーケティングの手法から販路開拓に向けての知識等を教育する場を設けた。</p> <p>(ものづくり相談支援事業において充当) 1回 輪島市創作工房経営者招聘 平成30年3月実施</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流				
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
	産業振興プラン位置付け	中施策	新製品・技術開発等に対する支援	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■専門家による指導等の場の継続とレベルアップ</p> <p>商品開発指導にマーケティング手法を取り入れ、マーケットインの発想を学ぶことで現代的販路開拓へレベルアップしていく。</p>		
		政策方針	商工・物流				
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

事業 13	ものづくり 基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成29年度			
	事業名	(事業13) 国、県等に関する補助制度等の情報提供支援		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	この事業は、中小製造事業者の事業展開に対して、適時的確な補助制度等に関する情報を提供します。 また、中小製造事業者が段階的な成長を遂げていくための補助制度プランの提示をはじめ、市ホームページにおける補助制度の検索システムや地域金融機関への説明会の開催などを検討します。		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■国や県等の補助制度に関する情報の収集 国や県、その他産業支援機関等の発行する施策利用ガイドブック及びホームページ掲載情報等により、補助制度に関する情報収集を実施することとした。</p> <p>■本市補助制度等の地域金融機関への説明会の計画 地域金融機関に対する本市補助制度等の説明会を平成30年3月に開催することを計画した。</p>	
					進捗率等	H29.9.1 現在	(%)
				補足事項			H30.3.31 現在
	成果目標	国や県等の補助制度に関する情報の整理及び製造事業者への適時適切な情報提供		事業結果	<p>■国や県等の補助制度に関する情報収集の実施 国や県、その他産業支援機関等の発行する施策利用ガイドブック及びホームページ掲載情報等により、補助制度に関する情報収集を行った。</p> <p>■本市補助制度等の地域金融機関への説明会の実施 地域金融機関に対する本市補助制度等の説明会を平成30年3月に実施した。</p>		
	総合計画の 位置付け (分野別)	政策方針			事業 評 価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<p>■情報提供方法の検討及び提供の実施 情報収集後の中小製造事業者への効果的な情報提供方法及び収集情報をどのような形で取りまとめ、提供することがより分かりやすいか等の観点の検討がなされていないため、収集情報の提供に向け、検討・改善に取り組んでいく。</p>
		大施策					
		中施策					
産業振興 プラン 位置付け	基本方向						
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)				

ものづくり基本計画		(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成29年度			
事業	事業名	(事業14) 企業OB技術者等の活用事業		予算額	763千円		
				決算見込額	490千円		
	事業概要	<p>多種多様な業種が混在する本市のものづくり産業においては、優れた技術者等が多数潜在しています。</p> <p>また、第一線を退いた技術者等が有する経験や知見は、中小製造事業者にとって、技術的課題等の解決に関し、有効な実務的手段と捉えることができます。</p> <p>この事業では、こうした技術者等と中小製造事業者を結び付ける機会を増やす取組を進めていきます。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■課題把握のためのヒアリング調査の実施と支援施策についての検討</p> <p>地元信用金庫と連携しながら、市内の中小製造業者の抱える経営課題の把握のため、ヒアリング調査を実施するとともに、有効な支援施策について検討を行った。</p>	
		補足事項			進捗率等	H29.9.1 現在	(%)
						H30.3.31 現在	(%)
	成果目標	企業OB技術者等の現状把握及び活用方策の整理					
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業結果	<p>■ヒアリング調査の実施と支援施策の検討</p> <p>課題把握のため、市内中小製造事業者へのヒアリング調査を実施した結果、人材に関わる課題を大別すると「①製造現場に従事する人材の不足」「②経営課題解決の専門的な知識・技術等を持った人材の不足」の2種類の課題が存在することが判明し、それぞれ「①人材ニーズ解消型」と「②経営課題解決型」の支援施策を検討・企画した。</p> <p>■市内企業と人材の交流会の開催(人材ニーズ解消型)</p> <p>平成30年3月、ポリテクセンター静岡において、市内中小製造事業者と人材の交流会を開催し、事業者28社と人材91名が参加し、273回の面談が行われ、34件のマッチング(企業の採用面談に進んだ件数)が成立した。</p> <p>■「新現役交流会」セミナーの開催(経営課題解決型)</p> <p>市内中小製造事業者と専門的な知識・技術を持つ企業OB等(=新現役)とのマッチングを通して経営課題の解決を図る「新現役交流会」開催の検討を行うため、平成30年1月に「新現役交流会」の豊富な運営サポート実績を持つ一般社団法人新現役交流会サポートを講師として招き、連携している地元信用金庫向けにセミナーを開催した。</p>	
		大施策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります。				
		中施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出				
	産業振興プラン位置付け	基本方向	人材の育成・確保		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	平成29年度は企業側のニーズに応じて人材ニーズ解消型の事業を積極的に推し進めてきたが、今後若年層の労働者が減少していくことを考慮すると、現在の延長線上で企業のニーズ(人手不足)に 대응していくことは困難であるため、今後は高齢者や外国人等の様々な人材の活用に向けた仕組み作りを検討していくとともに、企業の本質的な課題の解決に向けた経営課題解決型の事業に注力をしていきたい。	
基本方針		次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります。					
基本施策		若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)				

事業 15	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成29年度			
	事業名	(事業15) 製造業部会等との連携推進		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	この事業は、市内中小製造事業者への支援を拡充させるため、市内に立地する企業等との情報及び意見の交換を実施します。 具体的には、静岡商工会議所の製造業部会等との連携を図り、これによって得られた情報等をもとに、支援事業のブラッシュアップを実施します。また、中小及び大手企業に対しては、地域産業の振興への更なる推進に向けて、理解促進を求めています。		取組状況	H29.9.1 現在	■静岡商工会議所からの行政要望を通じた意見交換等の実施 製造業部会からの要望を含む静岡商工会議所からの行政要望を通じて、情報及び意見交換を実施した。	
				補足事項	進捗率等	H29.9.1 現在	(%)
						H30.3.31 現在	(%)
	成果目標	製造業部会等との連携による各支援制度のブラッシュアップ		事業結果	■静岡商工会議所からの行政要望を通じた意見交換等の実施 製造業部会からの要望を含む静岡商工会議所からの行政要望を通じて、情報及び意見交換を実施した。		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			■静岡商工会議所からの行政要望に対する検討及び回答 製造業部会からの要望を含む静岡商工会議所からの行政要望に対して検討を行い、検討結果について回答した。		
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向			事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	■静岡商工会議所 製造業部会等との情報交換の実施等 製造業部会を含め、静岡商工会議所と本市支援制度に関する情報交換を引き続き実施するとともに、支援制度等に係る課題整理を行っていく。	
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)				

事業 16-1	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成29年度		
	事業名	(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業16-1) 産業構造の将来動向等に関する予測モデル構築の検討		予算額	336 千円	
				決算見込額	192 千円	
	事業概要	この事業では、今後のものづくり産業の見通しについて、本市のものづくり産業に関する工業統計や産業連関表などを利用し、支援事業の企画立案等に資するため、将来動向に係る基礎データの蓄積と予測モデルの構築を検討します。		取組状況 H29.9.1 現在	<p>■将来動向等に関する基礎資料の集積 今後の本市のものづくり産業の施策形成等に向け、本市ものづくり産業の将来予測等に関する基礎資料を整えるため、県内の経済及び経営に関する大学の教員に協力を依頼して、予測モデル等の検討を進めている。</p> <p>①事業期間 平成29年4月～平成30年3月 ②対象大学 静岡産業大学 ③参加人材 教授 ④事業経費 報償費等 ⑤その他 調査研究会との連携協調など</p>	
					補足事項	進捗率等
	H30.3.31 現在	(%)				
	成果目標	将来動向に係る基礎データの蓄積及び予測モデルの構築		事業結果	<p>■ものづくり産業に関する考察の実施 本市のものづくり産業について、雇用の観点から業種ごとのトレンドや将来予測を行ったほか、製造業の生産性について考察した。 また、さいたま市及びさいたま市内企業へヒアリングを行い、産業構造の将来動向等に関する予測モデル構築の検討への知見の蓄積を行った。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興プラン位置付け	基本方向		事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■統計の整備に伴う調査・考察の実施 平成29年度に平成23年静岡市産業連関表が整備されたことから、次年度以降、それらを用いてより近年を対象とした調査・考察を行う必要がある。</p>		
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

事業 16-2	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成29年度			
	事業名	(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業16-2) 地域間競争に臨む戦略的方策の検討		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	この事業では、本市の強みを生かしたものづくり産業の連携をもとに、本市のものづくり産業の生き残り戦略に関して検討します。		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■第2次ものづくり産業振興基本計画に掲げる事業の進捗管理</p> <p>本市ものづくり産業の振興を図るためには、本市の強みをさらに強化することで地域間競争に対応を図ることが重要である。本市の強みについて、従業者を基本に捉えた場合、電気機械器具製造業や食品製造業などが地域を支える基盤産業といえる。</p> <p>一方、古くから地域で培われた伝統工芸をはじめ、造船、金属機械、家具等の木材加工業なども、本市のものづくり産業を捉える上で重要な業種である。</p> <p>本市としては、こうした地域を支える基盤産業や地場産業などが抱える課題への対応を図るため、ニーズへの支援策を展開することで、それぞれの業種分野が成長していく環境を醸成することが重要であり、それらに対応するため、平成27年度から平成30年度の4か年の計画として、「第2次ものづくり産業振興基本計画」を策定し、各登載事業の平成28年度の進捗状況について調査した。</p>	
					進捗率等	H29.9.1 現在	(%)
				H30.3.31 現在		(%)	
	成果目標	地域間競争に打ち勝つための戦略的方策の検討		事業結果	<p>■第2次ものづくり産業振興基本計画の進捗管理</p> <p>本基本計画に掲げる5つの方針とその中に位置づけられた各事業（各事業内に登載されたポイントを含めると全41事業）の効果的な推進に向けて進捗管理を実施し、21事業において当初の目標以上の進捗状況を達成することができた。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	事業評価		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■ものづくり産業界との関係構築の強化</p> <p>ものづくり産業界への支援展開は、第3次総合計画に掲げる人口70万人の維持に資するとともに、本市が地域間競争に勝ち抜くための重要な施策である。そのため、関係業界のニーズや動向を迅速かつ的確に把握することが求められている。こうしたことから、ものづくり産業界との関係性を更に強めていくことが重要である。</p> <p>■「第3次ものづくり産業振興基本計画」策定に向けた検討</p> <p>本市を取り巻く社会経済状況や審議会委員の意見、企業・団体等へのヒアリング結果等を踏まえながら、本市のものづくり産業の振興に関する施策について検討し、「第3次ものづくり産業振興基本計画」を策定する。</p>	
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向	基本方針		基本施策			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)				

事業 16-3	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成29年度			
	事業名	(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業16-3) ものづくり先進都市等に関する調査研究		予算額	103 千円		
				決算見込額	26 千円		
	事業概要	この事業では、本市ものづくり産業の展望を見据える上において、先進都市等の動向などを調査研究し、今後の事業展開などに役立てていくための知見の収集と分析を実施します。		取組状況	H29.9.1 現在	■視察調査先の検討 事業16-1 産業構造の将来動向等に関する予測モデル構築の検討のための知見の蓄積、伝統産業の振興に係る知見収集等の観点から、視察調査先を検討する。	
				補足事項	進捗率等		H29.9.1 現在
			H30.3.31 現在		(調査都市数) 1都市(さいたま市)	100 (%)	
	成果目標	先進視察都市数 1都市/年		事業結果	■埼玉県さいたま市の調査研究実施概要 埼玉県さいたま市は、人口約126万人、市内生産額は本市の約1.3倍を誇る都市であるが、サービス産業化が進んでいる点など、本市と産業構造が近似している。同市をベンチマークとし、本市の製造業の中で生産波及効果の大きい産業の調査と分析を行うとともに、同市における特徴的な産業施策についてのヒアリング及び同市が支援・連携している企業への訪問を実施した。 ①調査日 平成30年3月9日(金) ②調査先 さいたま市 産業展開推進課 さいたま市産業創造財団 株式会社ベルニクス(「さいたま市リーディングエッジ企業」認証企業) ③実施者 産業振興課職員(2人) 静岡産業大学経営学部 教授 計3人		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	■調査結果の施策への反映検討 事業16-1 産業構造の将来動向等に関する予測モデル構築の検討のための知見の蓄積を行うとともに、本市における統計の整備・活用等、調査結果の施策への反映に向けた検討を行っていく。
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向						
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)				

事業 16-4	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成29年度				
	事業名	(事業16) 中小企業の支援施策等に関する調査事業 (事業16-4) エネルギー需要状況等に関する調査研究		予算額	0千円			
				決算見込額	0千円			
	事業概要	この事業では、生産活動に不可欠なエネルギーの需給について、市内企業の自家発電電力などの現状把握をはじめ、今後の課題と対応策等に関し、静岡商工会議所製造業部会及び関連企業などの協力を得ながら調査研究を進めます。		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■冷熱利用は初期投資額、事業用地などから実現困難と判断。 今後は、現在取り組んでいるエネルギー施策である水素エネルギー利活用やエネルギー地産地消事業などに沿った取り組みについて検討を行っていく。</p>		
				補足事項	進捗率等		H29.9.1 現在	(%)
							H30.3.31 現在	(%)
	成果目標	現在のエネルギー需要の把握及び今後のエネルギー確保に向けた方策の整理		事業結果	<p>■冷熱利用は初期投資額、事業用地などから実現困難と判断。 今後は、現在取り組んでいるエネルギー施策である水素エネルギー利活用やエネルギー地産地消事業などに沿った取り組みについて検討を行っていく。</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■冷熱利用は初期投資額、事業用地などから実現困難と判断。 今後は、現在取り組んでいるエネルギー施策である水素エネルギー利活用やエネルギー地産地消事業などに沿った取り組みについて検討を行っていく。</p>				
	基本方針							
	基本施策							
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)					

事業 17-1	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成29年度					
	事業名	(事業17) 地場産品に関する調査事業 (事業17-1) 地場産品の市場及び商品分析等に関する調査		予算額	0千円				
				決算見込額	0千円				
	事業概要	<p>地場産品の開発や販売促進については、顧客ニーズの把握と分析に加え、どのような販路を経由して消費者の手元に届けていくのが重要となります。</p> <p>こうした点に関する調査結果については、地場産品の開発や販売促進などへの活用を図り、成果として、地場産業関係事業者の売上げ向上に結び付くように努めていきます。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■首都圏での消費者ニーズの把握</p> <p>首都圏において地場産品の展示会やPR等を行うに際して消費者ニーズやウォンツを把握するため、アンケート調査を実施した。</p> <p>2回(台東区:2k540 墨田区:スカイツリー) (3回予定)</p>			
					補足事項		進捗率等	H29.9.1 現在	2回 100(%)
								H30.3.31 現在	4回 200(%)
	成果目標	首都圏等における調査実施回数2回		事業結果	<p>■首都圏での消費者ニーズの把握</p> <p>首都圏において地場産品の展示会やPR等を行う場において、消費者ニーズやウォンツまた地元商品に係る意見等を把握するため、聞き取りによるアンケート調査を実施した。</p> <p>計3回(台東区:2k540 新宿区:東京展示会 墨田区:スカイツリー)</p> <p>■静岡ひきものプロジェクトで東京インターナショナルギフトショーに出展し、市場調査を行った。</p>				
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流						
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
		中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進						
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■調査の多様化と充実化</p> <p>首都圏でのアンケート調査により消費者ニーズやウォンツの把握等市場動向の把握はある程度できたが、消費者の域にとどまっていることから、中間財としてのニーズを把握するためBtoBの調査も併せて実施し多様化と充実化を図っていく。</p>				
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります							
	中施策	新市場・販路開拓に対する支援、シティプロモーションの推進							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)						

事業 17-2	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成29年度			
	事業名	(事業17) 地場産品に関する調査事業 (事業17-2) 伝統工芸品に関する代替素材の調査研究		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	<p>地場産業界の木工分野では、木地等の原材料調達が困難となりつつあるため、今後の商品製造が懸念されます。</p> <p>このような状況を回避するためにも、今後は、静岡大学農学部が取り組む木地の代替素材に関する研究に着目し、地場関連の製造事業者とも協力しながら、これに取り組めます。</p> <p>こうした取組に成果を出すことができれば、代替木地の開発、生産、使用との関連から、これまで市外に発注していた部分を市内に取り込むことができるため、市内における生産活動の連鎖から、経済波及効果にも期待が寄せられます。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■木工・竹分野における原材料の実態を調査・把握</p> <p>■業界と一体となった調査活動の推進 地場産業界と協働し、代替素材として活用可能な素材の可能性について、協議を行い調査を進める予定</p>	
				進捗率等	H29.9.1 現在	調査研究の実施	実施(%)
				補足事項	H30.3.31 現在	調査研究の実施	実施
	成果目標	他都市、他産地の事例を調査研究		事業結果	<p>■漆器、下駄、竹分野等における原材料の実態を調査、把握した。</p> <p>■業界団体と意見交換を実施 地場産業界と協働し、代替素材として活用可能な素材の可能性について、他産地の事例調査を協議した。</p> <p>■挽物素材の素材研究の実施 木製挽物製品業界と協働し針葉樹加工による素材利用試作を実施した。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■代替素材活用の安定的量産や流通化検証等の実施 代替素材活用による加工品が、安定的に量産できるかの検証を行い、これをクリアした場合は商品化可能かどうかを検証するための試験研究を行う。</p>	
		大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		中施策	新製品・技術開発等に対する支援				
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■代替素材活用の安定的量産や流通化検証等の実施 代替素材活用による加工品が、安定的に量産できるかの検証を行い、これをクリアした場合は商品化可能かどうかを検証するための試験研究を行う。</p>			
	大施策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
	中施策	新製品・技術開発等に対する支援					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

事業 17-3	ものづくり基本計画	(方針4) 中小企業の経営基盤・競争力の強化		平成29年度			
	事業名	(事業17) 地場産品に関する調査事業 (事業17-3) 職人及び業界への支援の在り方に関する調査研究		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	地場産業については、後継者不足や売上げ不振などもあり、その先行きが懸念されます。この事業では、各種の支援事業を実施する一方で、特に伝統的工芸品の製作に従事する職人やその関連業界について、どのような支援の在り方が望まれるのかなどを検討します。		取組状況 H29.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現行事業の再検討と調査活動の推進 実施中の各種支援事業について、業界と顔の見える関係を維持し、業界が何を求めているのかを理解し事業効果と業界ニーズとを勘案し、支援事業の再構築を図る。 ■ 全国の地場産業支援施策の事例を調査研究 全国の地域産業を支援するデザイン関連の公的機関の職員が集う場に参加し、全国の地場産業の現状把握や各種振興施策事例についての情報交換を実施した。(H29.6.15~6.16) 		
					補足事項		進捗率等
	H30.3.31 現在	他都市の実践事例調査研究の実施 実施					
	成果目標	他都市、他産地の事例を調査研究		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支援事業に係る調査活動の推進 実施中の各種支援事業について、再検討を実施し、事業効果と業界ニーズとを勘案し、支援事業に係る調査研究を実施した。 ■ 静岡挽物のあり方について調査研究 東京インターナショナルギフトショーにおいて、静岡挽物のニーズや技術や技法の活用について調査を実施した。 ■ 全国の地場産業支援施策の事例を調査研究 全国の地域産業を支援するデザイン関連の公的機関の職員が集う場に参加し、全国の地場産業の現状把握や各種振興施策事例についての情報交換を実施した。(H29.6.15~6.16) 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業界調査の実施 業界の高齢化や物故等による高い技術の消失危機や、後継者不足など業界の変化も激しいことから、聞き取り調査等を行い、業界の現状、要望等を把握していく。 ■ 他産地等先進地の多面的調査の実施 工芸品の他産地等で先進的試み等を行う自治体や産地団体等へ調査研究に赴き、後継者育成手法や技術アーカイブ手法等多面的に調査研究していく。 	
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等				
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

ものづくり基本計画		(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成29年度		
事業名	(事業18) 理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討	予算額		0千円		
		決算見込額		0千円		
事業概要	<p>この事業は、市内外から優秀な人材を確保して、市内ものづくり産業への就業を促進させるとともに、中小製造事業者が抱える課題等の解決に関して、インキュベート機能を含めた大学等の研究開発機関の立地を検討します。</p> <p>検討にあたっては、静岡商工会議所製造業部会等と連携を図り、地元製造業界におけるニーズの把握をはじめ、立地ビジョン等の作成を進めていきます。</p>	取組状況	H29.9.1 現在	<p>■高等教育のあり方の検討 静岡市立大学の設置可能性、理工系大学・学部の新設・誘致を含め、本市における高等教育のあり方について今後検討することとする。</p> <p>■短大化が決定した清水テクノカレッジとものづくり人材育成について意見交換を行う予定。</p>		
			補足事項	進捗率等	H29.9.1 現在	(%)
			H30.3.31 現在	(%)		
成果目標	設置学科等に関する地元産業界におけるニーズを把握する		事業結果	■清水テクノカレッジと今後のものづくり人材育成の在り方について意見交換を行った。		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価		
	大施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		■静岡商工会議所との連携の継続実施 地元製造業界におけるニーズの把握と実現に向けた検討については引き続き静岡商工会議所と連携しながら実施する。	
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成29年度	
事業名	(事業19) 職人の育成事業(市と伝統工芸業界の連携事業) (事業19-1) 若手後継者の技術習得支援(伝統工芸技術保存講習会の開催)		予算額	1,890千円	
			決算見込額	1,748千円	
事業概要	この事業は、漆器、蒔絵、拭漆、竹工芸、木工などの伝統工芸分野に関して、伝統工芸業界が後継者の育成を図り、伝統工芸技術の保存伝承及び技術の研鑽を実施します。市においては、こうした伝統工芸業界の活動を支援していきます。		取組状況	H29.9.1現在 ■伝統工芸業界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術練磨を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹千筋細工、木工指物などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催。 ①漆器の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期間：平成29年5月23日(火)～9月26日(火)18日間 受講生：蒔絵、漆器関連業界関係者9人 ②拭漆の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期間：平成29年10月16日(月)～12月4日(月)7日間 受講生：木工関連業界関係者5人程度(予定) ③竹千筋細工の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(駿河竹千筋細工) 期間：平成29年10月3日(火)～12月12日(火)11日間 受講生：竹業界後継者9人程度(予定) ④木工指物の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期間：平成29年6月29日(木)～12月14日(木)17日間 受講生：木工家具関連業界関係者8人程度(予定) ⑤蒔絵の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期間：平成28年10月11日(火)～平成29年3月7日(火)20日間 受講生：蒔絵、漆器関連業界関係者9人程度(予定)	
			補足事項	進捗率等	H29.9.1現在 H30.3.31現在
成果目標	受講生 30人以上/年 (漆器、蒔絵、木工、竹工芸、拭漆の5部門に関する講座)		■伝統工芸業界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術練磨を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹千筋細工、木工指物などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催。 ①漆器の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期間：平成29年5月23日(火)～9月26日(火)18日間 受講生：蒔絵、漆器関連業界関係者9人 ②拭漆の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期間：平成29年10月16日(月)～12月4日(月)8日間 受講生：木工関連業界関係者9人 ③竹千筋細工の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(駿河竹千筋細工) 期間：平成29年10月3日(火)～12月12日(火)11日間 受講生：竹業界後継者7人 ④木工指物の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期間：平成29年6月29日(木)～12月14日(木)17日間 受講生：木工家具関連業界関係者6人 ⑤蒔絵の部 事業名：伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期間：平成28年10月10日(火)～平成30年3月13日(火)20日間 受講生：蒔絵、漆器関連業界関係者7人		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流	事業結果		
	大施策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	
	大施策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
	中施策	次代を担う多様な人材の育成			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)		

ものづくり基本計画		(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成29年度	
事業名	(事業19) 職人の育成事業(市と伝統工芸業界の連携事業) (事業19-2) 職人育成事業(クラフトマンサポート事業)	予算額		8,880 千円	
		決算見込額		7,350 千円	
事業概要	この事業は、伝統工芸分野への新規就業を促進するため、市の財政的支援のもとで、伝統工芸業界が率先して、短期及び長期の現場実習に取り組みます。また、ものづくりで生計を志す者への独立支援については、市が工房等の賃貸料を助成していきます。	取組状況	H29.9.1 現在	(1) 地域産業現場実習短期支援者数 3名	
				(2) 地域産業現場実習長期支援者数 3名	
				(3) 地域産業独立支援補助金交付者数 2名	
				(4) 伝統工芸技術者雇用奨励金対象者数 2名	
補足事項		進捗率等	H29.9.1 現在	(短期支援) 3人	(短期支援) 150
				(長期支援) 3人	(長期支援) 150 (%)
				(独立支援) 2人	(独立支援) 200
				(雇用奨励) 2人	(雇用奨励) 100
H30.3.31 現在		進捗率等	H30.3.31 現在	(短期支援) 3人	(短期支援) 150
				(長期支援) 4人	(長期支援) 200 (%)
				(独立支援) 2人	(独立支援) 200
				(雇用奨励) 2人	(雇用奨励) 100
成果目標	制度活用量数(人) 短期支援2人/年、長期支援2人/年、独立支援1人/年、雇用奨励2人/年(各人数は延べ)		事業結果	(1) 地域産業現場実習短期支援者数 3名	
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	商工・物流		(2) 地域産業現場実習長期支援者数 4名	
	大施策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		(3) 地域産業独立支援補助金交付者数 2名	
	中施策	次代を担う多様な人材の育成		(4) 伝統工芸技術者雇用奨励金対象者数 2名	
産業振興プラン位置付け	政策方針	商工・物流	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	■平成28年度の課題であった短期支援における新規受け入れの強化を実施し、今年度は3人の受入を達成した。	
	大施策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		また、長期支援修了者が伝統工芸分野に定着できるよう新設された雇用奨励金を活用し、2名の業界定着を図った。	
	中施策	次代を担う多様な人材の育成		制度利用者が着実に技術習得し、業界に定着できるよう、引き続き業界とのコミュニケーションを図っていく。	
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)		

ものづくり基本計画		(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成29年度			
事業	事業名	(事業19) 職人の育成事業(市と伝統工芸業界の連携事業) (事業19-3) 若手職人の大学進学支援の検討		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	<p>若手職人への教育については、市と伝統工芸業界が連携を図る中、地元の職人によって、本市の固有技術に関する教育を基本として実施します。</p> <p>また、顧客ニーズに基づいて、商品の付加価値を高めるためには、熟練度の向上とともに、工芸、美術、造形をはじめ、デザイン力などの高度な専門知識が必要となります。</p> <p>こうしたアカデミックな側面からの教育については、これまでの生産活動に異なる発想や技術等が加わり、新たな価値を生み出す生産活動への向上が期待されます。よって、若手職人が、高度な専門分野を学習できるように大学への進学に向けた支援を検討します。</p>		取組状況	H29.9.1 現在	<p>■首都圏大学の講師招聘による研修の模索 後継者である若手職人が首都圏の美術大学の教授に直接指導を受け、デザインや技術、流通の専門知識に触れてもらう場を提供するため、講師来静を調整中。</p>	
				進捗率等	H29.9.1 現在	産地内現状調査実施	0(%)
				補足事項	H30.3.31 現在	大学講師による指導会の実施	- (%)
	成果目標	他都市、他産地の事例を調査研究		事業評価	事業結果	<p>■業界ニーズの確認と首都圏美術大学への派遣依頼 前回調査で、具体的なニーズは確認されず、制度的にも困難であることが判明したため、委託業務の中で首都圏の美術大学からの指導者を派遣し直接的デザイン指導等を実施した。</p> <p>■大学教授による指導会の実施 東京芸術大学名誉教授(工芸)に来静してもらい、地元工芸団体を指導してもらう中で若手職人等への直接指導を実施し、研修の場を提供した(「ものづくり・相談支援事業」中での実施)。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
	産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p>	<p>■職人等の大学進学は困難であることが判明しているため大学講師招聘による研修の場を設定した。今後は同様な内容の指導を他産地でもどのように実施しているかについても調査していく。</p>		
基本方針							
基本施策							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他(特記事項)				

事業 20	ものづくり 基本計画	(方針5) 次代を担う多様な人材の育成		平成29年度		
	事業名	(事業20) 高校生のインターンシップ事業		予算額	7,000千円 (若者の企業研究機会創出業務の一部)	
				決算見込額	1,159千円 (若者の企業研究機会創出 (インターンシップ関連) 業務の一部)	
	事業概要	この事業は、高校生に対し、インターンシップ (就業体験) やインタビューを通じた市内で活躍する社会人と接する機会の創出や、将来のキャリアについての出張講座等を行うものです。生徒自身が主体的に将来を考え、選択する力を育むことで、早期からのキャリア・ビジョン形成を図り、職業観を培うとともに、地元就職、Uターン就職の促進へと繋げることを目的としています。		取組状況	H29. 9. 1 現在	<p>■対象 市内高校に通う生徒</p> <p>■既実施数 ①インターンシップのコーディネート (2校、47名) ②ワークショップの実施 (1回、延べ2校、9名) ③キャリア形成講座の実施 (2校、328名) ※②、③はパイロット的に実施 (30年度から別途事業立て)</p> <p>■今後の予定 引き続き実施校との調整や、参加生徒の職業選択の幅がより広がるようなプログラムの検討を行う。 ※H29. 8. 31 (中間報告) 時点</p>
					補足事項	進捗率等
	H30. 3. 31 現在	事後アンケートにより「進路決定の上で参考になった」と回答した割合 97.7% 109 (%)				
	成果目標	事後アンケートにより「進路決定の上で参考になった」と回答した割合 90%		事業結果	事業評価	<p>■実施数 ①インターンシップのコーディネート及び事前事後学習の実施 (2校、47名) ②ワークショップの実施 (2回、延べ4校、16名) ③キャリア形成講座の実施 (3校、760名) ※②、③はパイロット的に実施 (30年度から別途事業立て)</p> <p>■執行額 若者の企業研究機会創出 (インターンシップ関連) 業務委託料 1,158,650円</p>
	総合計画の 位置付け (分野別)	政策方針	商工・物流分野			
		大施策	4 次世代を担う優れた人材の育成と多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
	産業振興 プラン 位置付け	中施策	2 若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出			
基本方向						
基本方針						
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)			

事業 21	事業名	(事業21)ものづくり体験・学習機会の提供	予算額	5,826千円	
			決算見込額	5,544千円	
	事業概要	この事業は、広く市内の方々に対して、本市の伝統工芸の魅力を知り、駿府匠宿の体験工房（駿河竹千筋細工、駿河和染、駿河指物など）への参加者増加の方策を検討します。 また、体験工房以外においても、伝統工芸を含む地場産業を幅広くPRするとともに、広く市内の方々に向けて学習機会を提供し、本市地場産業の周知と理解促進に努めます。	取組状況	H29.9.1 現在	<p>■地場産品体験学習事業の実施</p> <p>市内の小学校に通学する4年生が社会科授業の一環として、駿府匠宿で地場産品の創作体験をする場合、申請によりその利用に要する費用の一部を本市が支援している。（補助金額：児童1人につき1,740円を限度）</p> <p>9月下旬以降に順次、創作体験を実施予定。</p>
	補足事項	「駿府匠宿」の体験工房における創作体験（駿河竹千筋細工、駿河和染、陶芸等）を通じて、本市地場産品を学習する機会を提供し、地場産品とものづくりに対する関心と理解を深めるとともに、次代を担う人材として伝統工芸業界への興味を喚起します。	進捗率等	H29.9.1 現在	駿府匠宿体験学習利用申込児童数 3,325人 101 (%)
				H30.3.31 現在	駿府匠宿体験学習利用申込児童数 3,326人 101 (%)
	成果目標	駿府匠宿体験学習利用申込児童数（人） 3,300人／年			
	総合計画の位置付け（分野別）	政策方針 03 商工・物流			<p>■地場産品体験学習事業の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加学校数：42校 利用児童数：3,239人 申込児童数：3,326人 <p>例年のおり小学校の授業の一環として、駿府匠宿で地場産品の創作体験を実施し、子どもたちにもものづくりに対する関心と理解を深めることができた。</p>
		大施策 04 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
		中施策 01 次代を担う多様な人材の育成	事業		
	産業振興プラン位置付け	政策方針 03 商工・物流			<p>■事業利用の更なるPR</p> <p>①4月に開催される校長会での事業説明において、竹組合の体験事業（国の制度）と共同PRを行い、利用率向上の相乗効果を図る。</p> <p>②追加の事業説明として、6月ごろに申込みのない小学校に対し、4年生の担当者あてに再度通知を行い、事業の利用を促す。</p> <p>■段階的な伝統工芸業界への興味喚起</p> <p>①小学4年生の創作体験を伝統工芸業界に触れる契機とし、中学生、高校生等を対象に駿府匠宿における職場体験等を実施して、後継者育成につなげる。</p>
	大施策 04 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
	中施策 01 次代を担う多様な人材の育成	評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		
担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他（特記事項）		